

EPSON®
EXCEED YOUR VISION

Home Projector

EH-TW5650

取扱説明書



お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品を、安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

各説明書の使い方

本機の説明書は次のとおり構成されています。



安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。使い始める前に、必ずご覧ください。



取扱説明書（本書）

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および本機には、本機を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意 本機の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。



関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。



関連情報やより詳しい説明を記載しているページを示しています。

[メニュー名]

環境設定メニューの項目を示しています。
例：[画質]・[カラーモード]

ボタン名

リモコンまたは操作パネルのボタンを示しています。
例：Enter ボタン

「本機」または「本プロジェクター」という表記

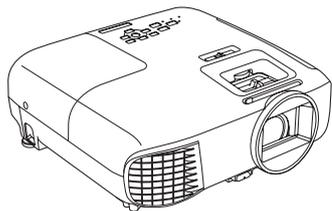
本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかにも同梱品やオプション品も含まれる場合があります。

同梱品の確認

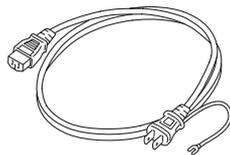
下記をご覧になり、同梱品を確認してください。

万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

プロジェクター本体



電源コード



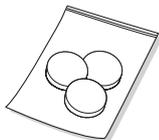
リモコン



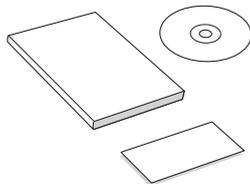
単3形マンガン乾電池 (2本)



逆さ設置用ゴム足



取扱説明書・保証書



説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方	2
説明書中の表示の意味	3
安全に関する表示	3
一般情報に関する表示	3
「本機」または「本プロジェクター」という表記	3
同梱品の確認	4

はじめに

各部の名称と働き	10
前面 / 上面	10
操作パネル	11
リモコン	12
背面	13
底面	13

使い始めるまでの準備

設置しよう	14
投写映像と本機の設置位置	14
スクリーンに対して平行に設置する	14
本機の左右の高さを合わせ水平に設置する	14

いろいろな設置方法	15
テーブルなどに置いて投写する	15
本機を上下反転させて投写する	15
投写距離	16

機器と接続しよう	18
Bluetooth® 機器の接続	20
リモコンを準備しよう	22
リモコンに電池をセットする	22
リモコンの操作範囲	23
操作可能範囲（左右）	23
操作可能範囲（上下）	23

基本操作

映像を投写しよう	24
電源を入れる	24
目的の映像が映らない場合	25
ホーム画面の使い方	26
電源を切る	27
投写映像を調整しよう	28
テストパターンを表示する	28
ピントを調整する（フォーカス調整）	28
映像サイズを調整する（ズーム調整）	28
映像の高さを調整する	29
本機の傾きを調整する	29

映像の位置を調整する (レンズシフト)	29
ゆがみを補正する	30
自動タテ補正	30
スライド式ヨコ補正	31
タテヨコ補正	31
Quick Corner	32
音量を調整する	33
映像と音声を一時的に消す (A/V ミュート)	33

画質の調整

画質の調整をしよう	34
登録した画質で映像を見る (メモリー機能)	35
メモリーを登録する	35
メモリーの呼び出し / 削除 / 名称変更	36

便利な機能

3D 映像を楽しもう	38
3D 映像を視聴するための準備	38
3D 映像が見えないときは	38
2D 映像を 3D に変換して見る	39
3D 映像視聴に関する注意	40
HDMI リンクで操作しよう	42
HDMI リンク機能	42

接続する	42
----------------	----

写真データを再生しよう (スライドショー)	44
ファイル一覧画面の使い方	44
再生できるデータ	45
スライドショーの実行	45
スライドショーの動作設定	45

2 種類の映像を同時に投写しよう (2 画面)	46
2 画面で投写する	46
2 画面を開始する	46
2 画面を終了する	46
2 画面の設定を変更する	46

ネットワーク上のプロジェクターを利用する

無線 LAN 経由で投写しよう	48
プロジェクターのネットワーク設定をする	48
Windows で無線 LAN を設定する	50
Mac で無線 LAN を設定する	50
コンピューターの無線 LAN 設定をする	50
無線 LAN のセキュリティを設定する	50
QR コードを使用してモバイルデバイスを接続する	51

Screen Mirroring で投写しよう	52
Screen Mirroring を設定する	52
Windows 10 で投写する	53
Windows 8.1 で投写する	54

Miracast 機能を使って投写する	56
---------------------	----

環境設定メニュー

環境設定メニューの機能	58
環境設定メニューの操作	58
ネットワークメニュー操作上のご注意	59
ソフトウェアキーボードの操作	59
環境設定メニュー一覧	60
画質メニュー	60
映像メニュー	63
設定メニュー	65
拡張設定メニュー	68
ネットワークメニュー	70
情報メニュー	73
初期化メニュー	73

困ったときに

故障かなと思ったら	74
インジケーターの見方	74
異常 / 警告時のインジケーターの状態	74
正常時のインジケーターの状態	76
無線 LAN インジケーターの状態	77
インジケーターを確認してもわからないとき	78
電源が入らない、予期せず切れる	79
映像が写らない	80

写っている映像がおかしい	82
音が出ない、小さい	84
リモコンで操作できない	85
無線 LAN でネットワーク接続ができない	86
Screen Mirroring で接続できない	86
ネットワーク経由で投写した映像が乱れる	87
Event ID について	88

メンテナンス

お手入れの方法	90
各部の掃除	90
エアフィルターの掃除	90
本体の掃除	92
レンズの掃除	92
3D メガネの掃除	92
消耗品の交換時期	93
エアフィルターの交換時期	93
ランプの交換時期	93

付録

オプション・消耗品一覧	94
オプション品	94
消耗品	94
対応解像度一覧	95

コンピューター映像 (アナログ RGB)	95
HDMI1/HDMI2 入力信号	95
MHL 入力信号	95
3D 入力信号 HDMI	96
3D 入力信号 MHL	96
仕様一覧	97
外形寸法図	99
用語解説	100
一般のご注意	101
商標について	102

各部の名称と働き

前面 / 上面

ランプカバー

このカバーを開けて中のランプを交換します。

レンズシフトダイヤル

映像の位置を上下に移動します。● p.29

スライド式レンズカバー操作部

ツマミをスライドさせて、レンズカバーを開閉します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。● p.33

排気口

本機内部を冷却した空気を吐き出します。

レンズカバー

本機を使用しないときに閉じて、レンズを傷や汚れから保護します。

フロントフットレバー

フロントフットの高さを調整します。
● p.29

リモコン受光部

リモコン信号を受信します。● p.23

操作パネル

本機の操作をします。● p.11

ヨコ補正スライダー

投写映像のヨコ方向のゆがみを補正します。● p.31

ズームスライダー

映像のサイズを調整します。● p.28

フォーカススライダー

映像のピントを調整します。● p.28

エアフィルターカバー

このカバーを開けてエアフィルターを取り出します。

吸気口

本機内部を冷却するための空気を吸い込みます。

投写レンズ

ここから映像を投写します。

操作パネル

ホーム画面を表示 / 終了します。
☛ p.26

プロジェクターの電源をオン /
オフします。☛ p.24

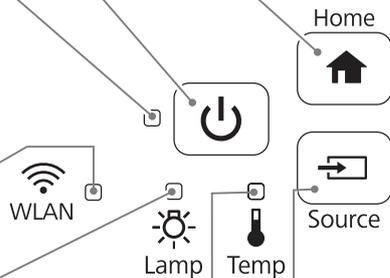
オペレーションインジケータ
です。
本機のウォームアップ中、クー
ルダウン中に青色で点滅します。
☛ p.74

無線 LAN のアクセス状況を点
灯・点滅で示します。☛ p.77

ランプ交換の時間に達するとオ
レンジ色に点滅します。☛ p.74

内部が高温になるとオレンジ色
に点滅します。☛ p.74

各入力端子からの映像に切り替
えます。☛ p.25



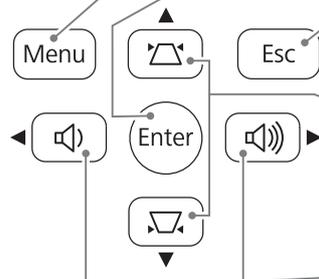
環境設定メニューを表示 / 終了
します。☛ p.58

メニューを表示中に、機能や設
定値を選択します。☛ p.58

メニューを表示中に、1 つ上の
階層に戻ります。☛ p.58

- 投写映像のゆがみを調整しま
す。☛ p.31
- メニュー表示中は、メニュー
項目や調整値を選択します。

- 音量を調整します。☛ p.33
- Bluetooth オーディオ機器の
音量は調整できません。
- メニュー表示中は、メニュー
項目や調整値を選択します。
- 台形補正画面の表示中は、ヨ
コ方向の台形補正をします。
☛ p.31



リモコン

プロジェクターの電源をオン / オフします。

☛ p.24

各入力端子からの映像に切り替えます。☛ p.25

[HDMI リンク] が [オン] の場合に、HDMI CEC 規格または MHL 規格に対応した接続機器の再生、停止、音量調整などができます。☛ p.42

[HDMI リンク] が [オン] の場合は接続機器一覧を、[HDMI リンク] が [オフ] の場合は HDMI リンクの設定メニューを表示します。

環境設定メニューを表示 / 終了します。☛ p.58

メニュー項目や調整値を選択します。☛ p.58

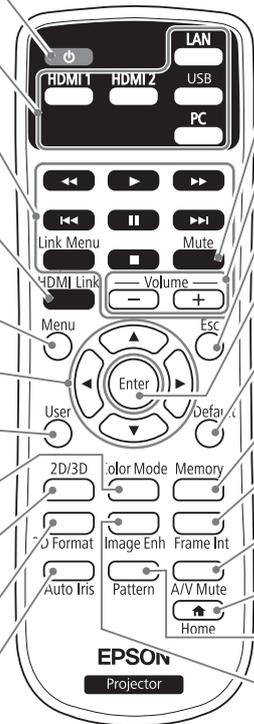
[ユーザーボタン] に割り当てた機能を実行します。☛ p.65

[カラーモード] を切り替えます。☛ p.34

[3D 表示] をオート / 3D / 2D に切り替えます。☛ p.38

3D フォーマットを変更します。☛ p.38

[オートアイリス] を設定します。☛ p.34



音声を一時的に遮断 / 解除します。☛ p.33

音量を調整します。☛ p.33
Bluetooth オーディオ機器の音量は調整できません。

メニュー表示中に押すと、1 つ上の階層に戻ります。☛ p.58

メニューの表示中に押すと、項目を決定したり、1 つ下の階層に進みます。☛ p.58

メニューの調整画面が表示されているときに押すと、調整値が初期値に戻ります。☛ p.58

メモリーの登録、呼出しをします。☛ p.35

フレーム補間の強度を設定をします。☛ p.34

映像と音声を一時的に遮断 / 解除します。☛ p.33

ホーム画面を表示 / 終了します。☛ p.26

テストパターンを表示 / 終了します。☛ p.28

[イメージ強調] メニューを表示します。☛ p.34

背面

電源端子

電源コードを接続します。● p.24

Service 端子

サービス端子です。通常は使用しません。

USB 入力端子

USB メモリーやデジタルカメラなどの USB 機器を接続し、ストレージデバイス内の画像をスライドショーで表示します。● p.44

リモコン受光部

リモコン信号を受信します。● p.23

Audio Out 端子

再生中の音声を外部スピーカーに出力します。● p.18

スピーカー

本機の内蔵スピーカーです。音声を再生します。

PC 入力端子

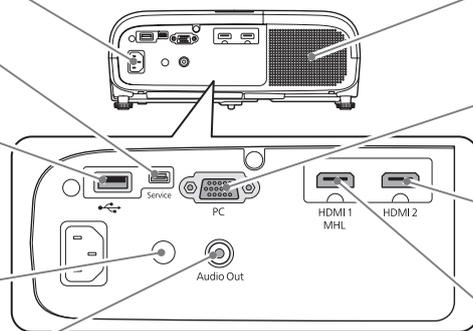
コンピューターの RGB 出力端子と接続します。● p.18

HDMI2 入力端子

HDMI に対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。● p.18

HDMI1/MHL 入力端子

HDMI に対応したビデオ機器やコンピューター、MHL に対応したスマートフォンやタブレット端末を接続します。● p.18



底面

フロントフット

机上に設置したときに、フットを伸縮させて映像の高さを調整します。● p.29

セキュリティーケーブル取付け部

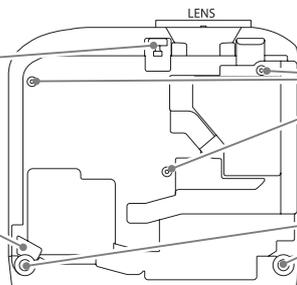
市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。

天吊り固定部 (3 箇所)

天井から吊り下げて使うときに、オプションの天吊り金具を取り付けます。● p.94

リアフット

机上に設置したときに、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。● p.29



設置しよう

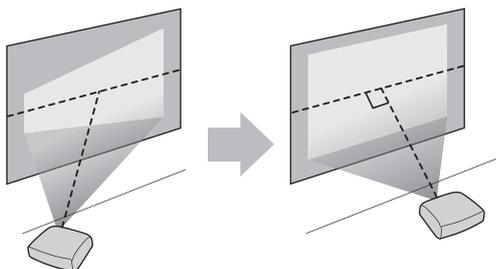
投写映像と本機の設置位置

プロジェクターは以下のように設置してください。

スクリーンに対して平行に設置する

スクリーンに対して本機を斜めに設置すると、投写映像が台形にゆがみます。

スクリーンと本機が平行になるよう設置位置を調節してください。



本機を平行に設置できないときは次の方法で投写映像を調整します。

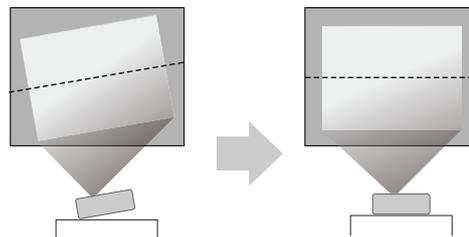
- ヨコ補正スライダーまたはタテヨコ補正を使って映像のゆがみを補正 ● p.30
- レンズシフトで映像の投写位置を調整 ● p.29

本機の左右の高さを合わせ水平に設置する

本機を傾けて設置すると、投写映像も傾きます。

本機の高さが左右で異ならないよう、水平に設置してください。

本機を水平に設置できないときは、リアフットで本機の傾きを調整します。● p.29



いろいろな設置方法

⚠ 警告

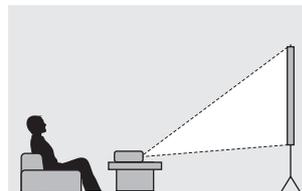
- 天井への取り付け（天吊り設置）工事には特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 不安定な棚の上や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 棚の上など高い位置に設置するときは、地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと落下によりけがや事故の原因となります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

- 湿気やホコリの多い場所・油煙やたばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。
- 本機を縦向きに置いて投写しないでください。故障の原因となります。
- ホコリの多い環境でお使いの場合は、こまめにエアフィルター掃除を行ってください。👉 p.90

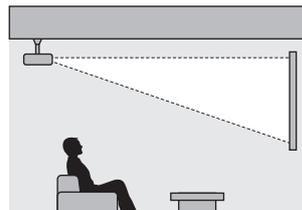
テーブルなどに置いて投写する

リビングテーブルや低めの棚などに設置して、映像を投写します。



本機を上下反転させて投写する

オプションの天吊り金具で天吊り設置したり、付属の逆さ設置用ゴム足を使って逆さ設置するなどして、映像を投写します。



本機を上下反転させて投写する場合は、[設置モード]を[フロント・天吊り]または[リア・天吊り]に設定します。

👉 [拡張設定] - [設置モード] p.68

投写距離

本機をスクリーンから離すほど、投写映像は大きくなります。

次の表を参考にして、映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。

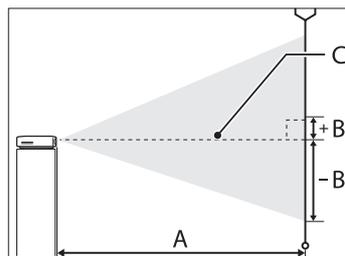
レンズシフトによる調整の最大値は次の表のとおりです。



- ゆがみを補正すると投写映像が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせてときは、投写距離を長くしてください。
- 次の表にないサイズのスクリーンに投写する場合は、www.epson.jpに掲載されている投写距離シミュレーターでご確認ください。

単位：cm

16:9 スクリーン サイズ	A：最短 (Wide) ～最長 (Tele)	B：上下レンズシフト 最上～最下	
60 型	133x75	176 ~ 286	-4 ~ +7
80 型	177x100	235 ~ 382	-5 ~ +10
100 型	221x125	295 ~ 478	-6 ~ +12
120 型	266x149	354 ~ 575	-7 ~ +15
150 型	332x187	443 ~ 719	-9 ~ +19
200 型	443x249	591 ~ 959	-12 ~ +25
250 型	553x311	740 ~ 1200	-16 ~ +31
300 型	664x374	888 ~ 1441	-19 ~ +37



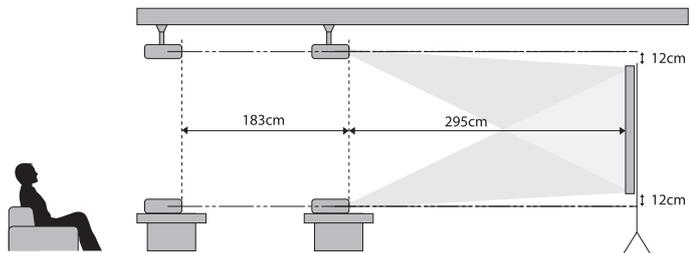
A：プロジェクターからスクリーンまでの投写距離

B：レンズの中心から投写画面下端までの高さ

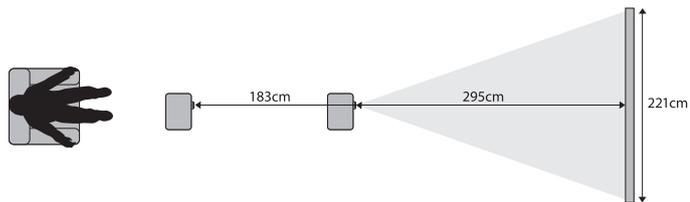
C：レンズの中心

設置例（16:9 スクリーンサイズ /100 型の場合）

横から見た図



上から見た図



機器と接続しよう

注意 すべての接続機器

- 接続機器のケーブルを本機に接続してから本機の電源コードを接続してください。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと、機器の破損や故障の原因になります。

スマートフォン・タブレット端末

- 必ず MHL 規格に対応したケーブルで接続してください。MHL 規格に対応していないケーブルを接続すると、スマートフォンやタブレット端末の発熱、液漏れ、破裂など火災の原因になる場合があります。
- MHL-HDMI 変換アダプタ（市販品）を使用して接続すると、本機のリモコンを使ったスマートフォン、タブレット端末の操作および充電ができないことがあります。

USB 機器

- USB ハブを使用すると正しく動作しません。デジタルカメラや USB 機器は直接本機に接続してください。
- 3m 以下の USB ケーブルをお使いください。ケーブルの長さが 3m を超えると、スライドショーが正しく動作しないことがあります。



ビデオ機器

- ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。
- 音声为正しく出力されないときは、[音声出力機器]の設定をご確認ください。
☛ [設定] - [HDMI リンク] - [音声出力機器] p.65

スマートフォン・タブレット端末

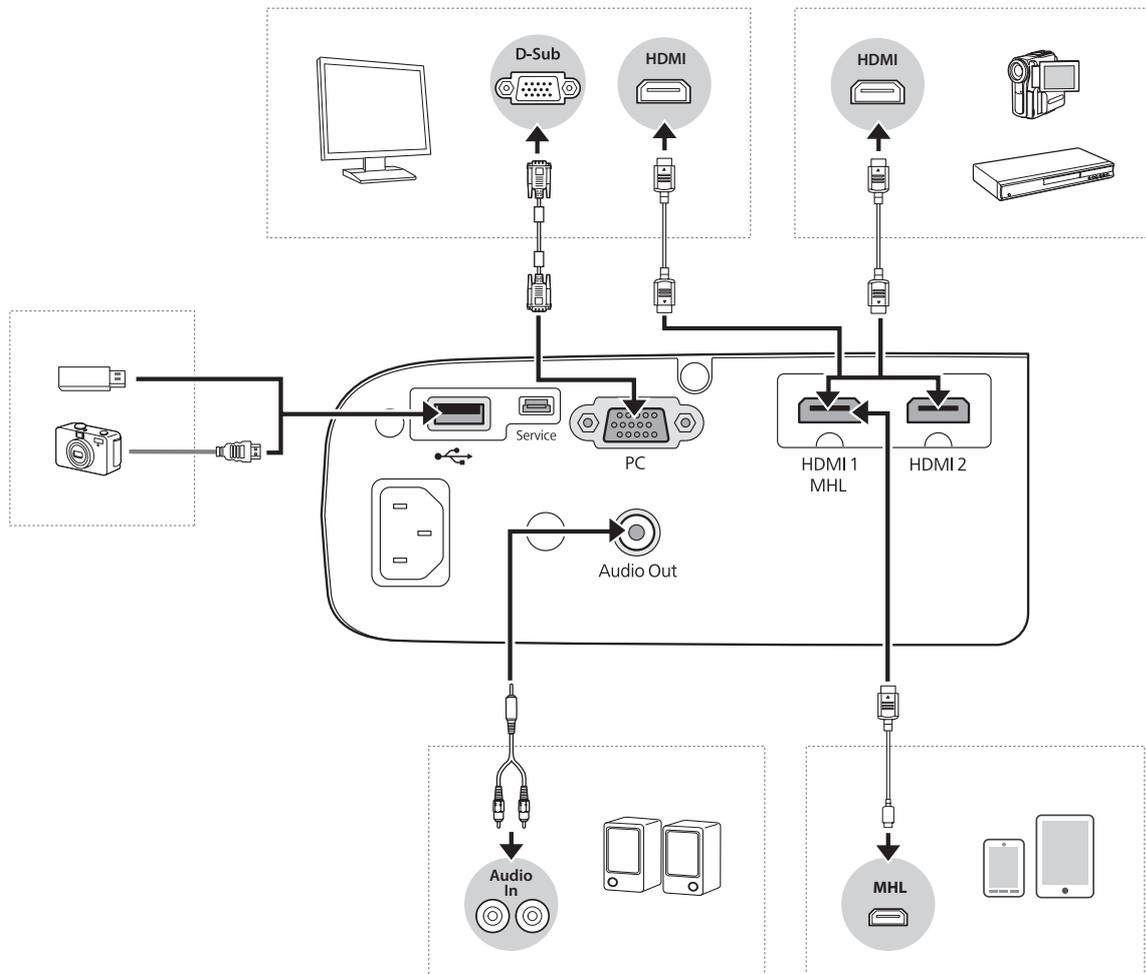
- 映像の投写中は、接続しているスマートフォンやタブレット端末が充電されます。
- 動画再生中など使用電力が大きい場合は、充電されないことがあります。
- 本機がスタンバイ状態のときや、スマートフォンやタブレット端末のバッテリー残量がないときは充電されません。

USB 機器

- USB 機器を接続すると、USB メモリーやデジタルカメラ内の画像ファイルをスライドショーで再生します。☛ p.44
- 投写終了後は、本機から USB 機器を取り外します。電源スイッチがある機器をお使いの場合は、USB 機器の電源をオフにしてから取り外してください。

外部スピーカー

- 外部スピーカーから音声を出力するときは、[音声出力機器]を [プロジェクター] に設定します。
☛ [設定] - [HDMI リンク] - [音声出力機器] p.65
- [音声出力機器]が [AV アンプ] に設定されていても、アンプが接続されていない場合は、音声は外部スピーカーから出力されます。



Bluetooth[®] 機器の接続

Bluetooth 対応のオーディオ機器（A2DP 準拠）や 3D メガネ（Bluetooth 3DS Profile 準拠）を接続できます。

3D メガネの接続方法は、ELPGS03 に付属の取扱説明書をご覧ください。



1  ボタンを押して、[設定]-[Bluetooth]-[Bluetooth オーディオ] の順でメニューを表示します。

2   ボタンで [オン] を選択し、 ボタンを押して決定します。



3 接続する Bluetooth 機器を、ペアリング可能な設定にします。

Bluetooth 機器の設定方法は、Bluetooth 機器に付属の取扱説明書を参照してください。

4 [Bluetooth 機器検索] を選択します。
接続可能な機器が一覧で表示されます。

5   ボタンで接続する Bluetooth 機器を選択し、 ボタンを押して接続します。



本機の電源を入れ直したときは、最後に接続した機器に自動的に接続します。

接続機器を切り替えるときは、手順 3 から行います。



- ・ [音声出力機器] を [AV アンプ] に設定しているときは、Bluetooth オーディオ機器から音声を出力できません。Bluetooth オーディオ機器から音声を出力するときは、[音声出力機器] を [プロジェクター] に設定してください。
 [設定] - [HDMI リンク] - [音声出力機器] p.65
- ・ Bluetooth オーディオ機器で再生される音声には遅延が生じます。

 警告

- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- 自動制御機器に電磁妨害をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。



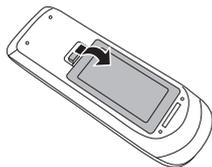
- 著作権保護 (SCMS-T) に対応している Bluetooth 機器を接続してください。
- 機器の規格や種類によっては接続できないことがあります。
- 通信可能距離内で接続しているときでも、電波状況によっては接続が切れることがあります。
- Bluetooth の通信方式は無線 LAN (IEEE802.11b/g) や電子レンジと同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、同時に使用すると電波干渉が発生し、映像や音声途切れたり接続ができないことがあります。同時に使用したいときは、Bluetooth 機器をこれらの機器の近くで使用しないでください。
- 複数の Bluetooth 機器を同時に接続することはできません。

リモコンを準備しよう

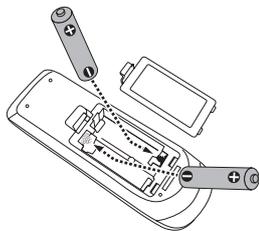
リモコンに電池をセットする

- 注意
- 電池ホルダー内の表示を確認し、(+) (-) を正しく入れてください。
 - 単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

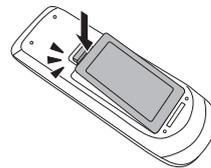
① 電池カバーを外します。



② 新しい電池と交換します。



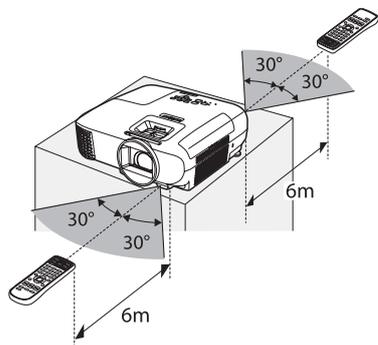
③ 電池カバーを取り付けます。



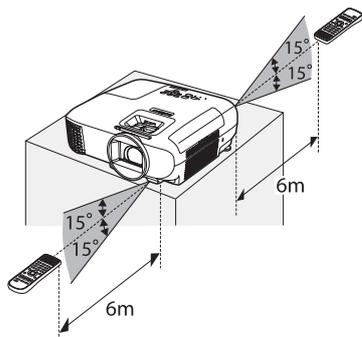
リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。
交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池を2本用意してください。

リモコンの操作範囲

操作可能範囲（左右）



操作可能範囲（上下）



映像を投写しよう

電源を入れる

① 本機と接続機器を接続します。

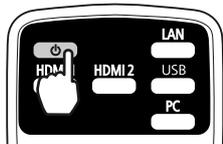
② 同梱の電源コードを接続します。



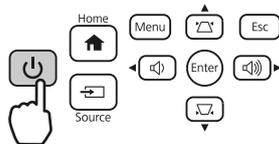
必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

③ リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押します。

リモコン



操作パネル



オペレーションインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、オペレーションインジケータが青色に点灯します。

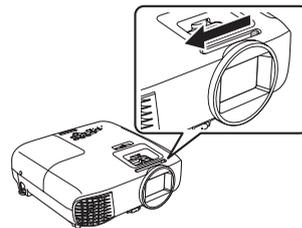


[ダイレクトパワーオン] を [オン] にすると、本機に電源コードを接続するだけで投写を開始します。

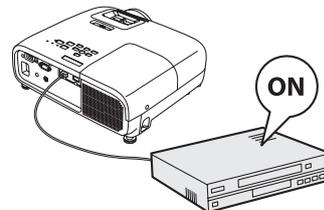
 [拡張設定] - [動作設定] - [ダイレクトパワーオン] p.68

④ レンズカバーを開けます。

スライド式レンズカバー操作部をカチッと音がするまでスライドして、レンズカバーを開きます。



⑤ 接続機器の電源を入れます。



警告

- ・エアダスターや殺虫剤などの可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。プロジェクターの周囲で可燃性スプレーを使用した場合は、十分に換気してからプロジェクターの電源を入れてください。
- ・投写中はレンズをのぞかないでください。強い光により視力障害などの原因となります。
- ・排気口をのぞかないでください。ランプが破裂した場合、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。万一、ガラス破片が目や口に入ったときは、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
- ・投写中はレンズの前に立たないでください。衣服が高温になり損傷する原因となります。

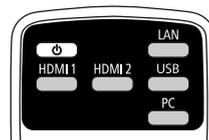


- ・本機には、お子様が悪くて電源を入れるのを防ぐチャイルドロック機能や、誤操作などを防ぐ操作ボタンロック機能があります。
☛ [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] / [操作ボタンロック] p.65
- ・本機には、接続しているコンピューター映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能があります。
☛ [映像] - [自動調整] p.63
- ・標高 1500m 以上でお使いの場合は、必ず [高地モード] を [オン] にしてください。
☛ [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.68

目的の映像が映らない場合

映像が映らないときは、次の方法で入力ソースを切り替えます。

リモコン



操作パネル



目的の入力端子のボタンを押します。

 ボタンを押すと、入力ソースが LAN または Screen Mirroring に切り替わります。

 ボタンを押して目的の入力端子を選択します。

 ボタンを押すと決定します。

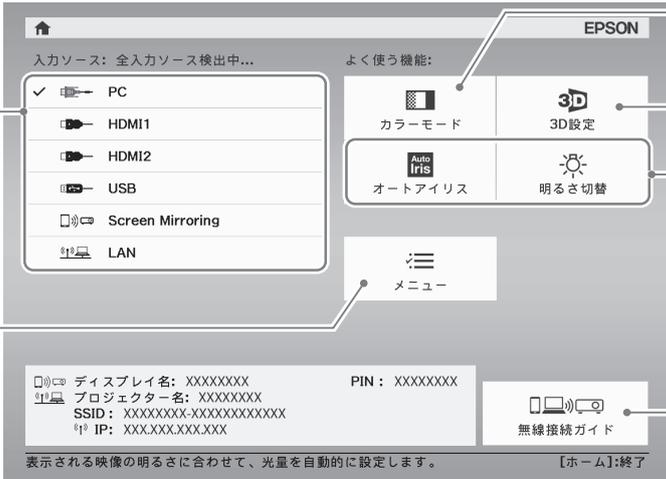
ホーム画面の使い方

ホーム画面を使うと、入力ソースの切り替えや、便利な機能の実行が簡単にできます。

ホーム画面を表示するには、リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押します。

以下の条件を満たしているときは、本機の電源を入れるとホーム画面が自動で表示されます。

- [ホーム画面自動表示] が [オン] に設定されている。  [拡張設定] - [ホーム画面設定] - [ホーム画面自動表示] p.68
- すべての入力ソースが無信号状態



The screenshot shows the Epson Home screen with the following elements and callouts:

- 入力ソースを切り替えます。** (Switch input source.) - Callout pointing to the input source list on the left, which includes PC (checked), HDMI1, HDMI2, USB, Screen Mirroring, and LAN.
- 環境設定メニューを表示します。** (Display environment settings menu.) - Callout pointing to the 'メニュー' (Menu) button at the bottom center.
- [カラーモード] を切り替えます。** (Switch color mode.) - Callout pointing to the 'カラーモード' (Color Mode) button in the 'よく使う機能' (Frequently used functions) section.
- 3Dの設定をします。** (Set 3D.) - Callout pointing to the '3D設定' (3D Settings) button in the 'よく使う機能' section.
- [ホーム画面設定] で [カスタム機能 1]、[カスタム機能 2] に割り当てた機能を実行します。** (Execute functions assigned to [Custom Function 1] and [Custom Function 2] in [Home Screen Settings].) - Callout pointing to the 'オートアイリス' (Auto Iris) and '明るさ切替' (Brightness Switch) buttons in the 'よく使う機能' section.
- 無線接続ガイドを表示します。** (Display wireless connection guide.) - Callout pointing to the '無線接続ガイド' (Wireless Connection Guide) button at the bottom right.

At the bottom of the screen, there is a status bar with the following information:
ディスプレイ名: XXXXXXXX プロジェクター名: XXXXXXXX PIN: XXXXXXXX
プロジェクト名: XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX SSID: XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX IP: XXX.XXX.XXX.XXX
表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定します。 [ホーム]:終了



10 分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

電源を切る

本機の電源を切るときは、リモコンまたは操作パネルの  ボタンを2回押します。



- オペレーションインジケータの点滅中は、本機がクールダウンを実行しています。
- 電源コードを接続している状態では、本機が動作していなくても電力を消費します。
- 本機を使用後は、レンズにキズがつかないように、レンズカバーを閉めることをお勧めします。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ故障の原因となります。

投写映像を調整しよう

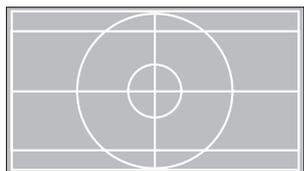
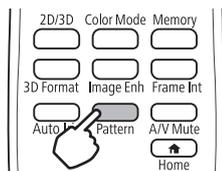


プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス / ズーム / レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから 30 分以上たってから行うことをお勧めします。

テストパターンを表示する

テストパターンを表示して、映像機器を接続せずに、ピントや投写サイズ、投写位置の調整ができます。

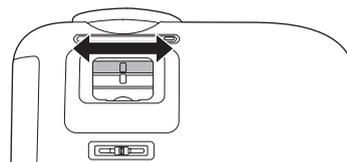
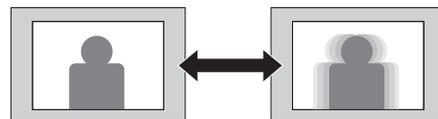
リモコンの  ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。



テストパターン表示を終了するには、もう一度  ボタンを押します。

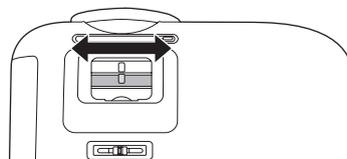
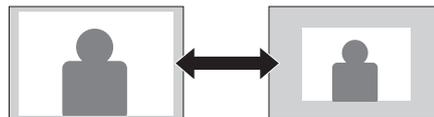
ピントを調整する(フォーカス調整)

フォーカススライダーを使ってピントを調整します。



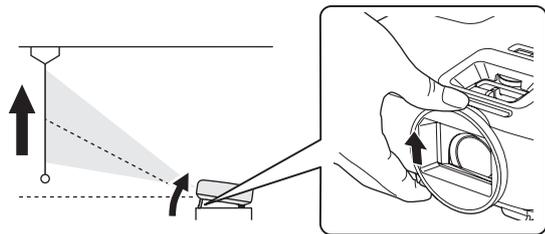
映像サイズを調整する(ズーム調整)

ズームスライダーを使って投写映像の大きさを調整します。



映像の高さを調整する

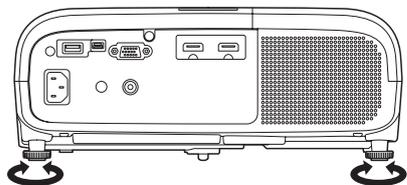
フットレバーを押してフロントフットを伸ばします。最大 11°まで傾けて、映像の高さを調整できます。



傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

本機の傾きを調整する

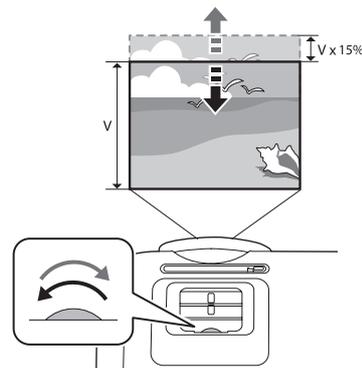
机上設置時に投写映像が水平方向に傾いている（左右で高さが違う）ときは、リアフットで本機が水平になるように調整します。



映像の位置を調整する（レンズシフト）

スクリーンの正面に本機を設置できないときは、レンズシフトで映像の位置を調整します。

本機のレンズシフトダイヤルを回して、映像の位置を調整します。



- レンズシフトで画面の位置を調整するときは、画面を下から上に移動して調整してください。
- レンズシフトで投写位置を調整するときは、スクリーンと本機が平行になるように設置することをお勧めします。

ゆがみを補正する

台形にゆがんだ投写映像を補正するには、次の方法があります。

自動補正	自動タテ補正	タテ方向の台形のゆがみを自動的に補正します。
手動補正	スライド式ヨコ補正	ヨコ方向の台形のゆがみをヨコ補正スライダーで補正します。
	タテヨコ補正	タテ方向とヨコ方向のゆがみを個別に補正します。
	Quick Corner	投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。



- ゆがみを補正すると投写映像が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、投写距離を長くしてください。
- 映像品質を落とさないためには、スクリーンと本機が平行になるように設置してください。スクリーンと本機を平行に設置できないときは、タテヨコ補正を使用して映像の形状を補正してください。
- ゆがみを補正するときは、レンズシフトダイヤルを回して、レンズの位置を上端にしてください。レンズの位置が正しくないと投写画面がゆがむ場合があります。

自動タテ補正

本機を設置したときなどプロジェクターが動きを感知すると、投写映像のタテ方向のゆがみを自動的に補正します。プロジェクターが動きを感知してから約2秒間静止すると、調整用の画面が表示され、投写映像が補正されます。

自動タテ補正で投写映像を正しく補正できる条件は以下のとおりです。

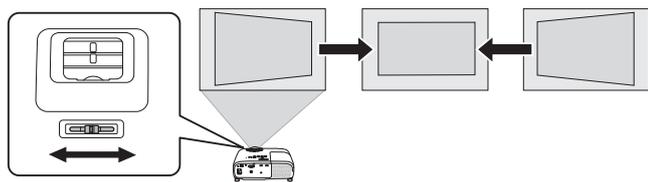
- 投写角度が上下約30°以下である。
- [設置モード] が [フロント] に設定されている。
☛ [拡張設定] - [設置モード] p.68



自動タテ補正を機能させたくないときは、[自動タテ補正] を [オフ] に設定してください。
☛ [設定] - [台形補正] - [自動タテ補正] p.65

スライド式ヨコ補正

ヨコ補正スライダーを左右に移動させ、ヨコ方向のゆがみを補正します。



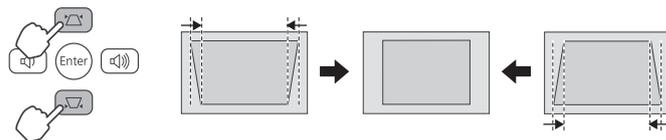
- [台形補正] が [Quick Corner] に設定されているとスライド式ヨコ補正が機能しません。[タテヨコ] に設定してください。
☛ [設定] - [台形補正] p.65
- 正しく補正できる範囲は、補正角度で左右約 30° 以下です。

タテヨコ補正

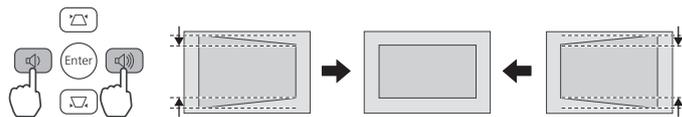
操作パネルの ボタンでタテヨコ方向のゆがみを補正します。

ボタンを押すと、タテ補正 / ヨコ補正ゲージが表示されます。

上下のどちらかが広いとき



左右のどちらかが広いとき

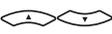


- 正しく補正できる範囲は、補正角度で上下左右約 30° 以下です。
- タテ補正 / ヨコ補正ゲージが表示されていない状態で ボタンを押すと、音量調整の機能として動作します。☛ p.33
- タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。
☛ [設定] - [台形補正] - [タテ補正] / [ヨコ補正] p.65

Quick Corner

Quick Corner 機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。

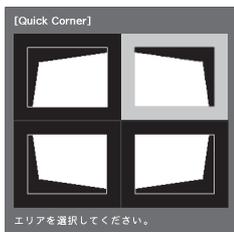
①  ボタンを押して、[設定]-[台形補正]の順でメニューを表示します。

②  ボタンで [Quick Corner] を選択し、 ボタンを押して決定します。必要に応じて  ボタンをもう一度押します。



エリア選択画面が表示されます。

③ 補正するコーナーを  ボタンで選択して、 ボタンを押します。



Quick Corner で補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに  ボタンを約 2 秒間押し、[はい] を選択します。

④  ボタンでコーナーの位置を補正します。
 ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



⑤ 手順 3 と 4 を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

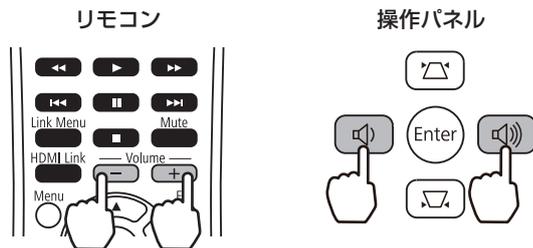
⑥ 終了したら  ボタンを押します。



Quick Corner 実行後は、[設定] メニューの [台形補正] が [Quick Corner] に設定されます。操作パネルの   ボタンを押したときは、エリア選択画面が表示されます。

音量を調整する

リモコンの  ボタンまたは操作パネルの  ボタンで音量を調整できます。



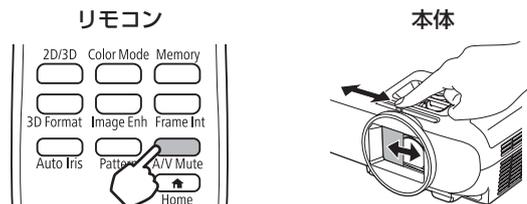
- 音量の調整は、環境設定メニューからも設定できます。
👉 [設定] - [音量] p.65
- AV アンプの音量を調整するときは、本機に AV アンプを接続した状態で、[HDMI リンク] を [オン]、[音声出力機器] を [AV アンプ] に設定します。
👉 [設定] - [HDMI リンク] p.65
- Bluetooth オーディオ機器から音声を出力しているときは、本機の音量を変更しても、Bluetooth オーディオ機器の音量は変更されません。

注意

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

映像と音声を一時的に消す (A/V ミュート)

リモコンの  ボタンを押す、またはレンズカバーを閉 / 開するたびに、映像と音声が悪断 / 解除されます。



- 動画を再生中は、A/V ミュート中でも映像と音声は進んでいます。悪断した場面から投写を再開することはできません。
-  ボタンでも音声の悪断 / 解除を切り替えられます。

画質の調整をしよう

次の機能を使って、投写映像の画質や色合いを調整できます。

設定画面の操作方法や設定値の詳細は、p.58の「環境設定メニューの機能」をご覧ください。

機能名	機能概要	設定画面の表示方法
カラーモード	投写時の環境に応じて最適な画質で投写できます。 モードによって投写の明るさが変わります。	<ul style="list-style-type: none">•  ボタンを押す• [画質] - [カラーモード] を選択する•  ボタンを押して [カラーモード] を選択する
アスペクト	投写映像の [アスペクト] を切り替えます。 信号によっては [アスペクト] が固定の場合があります。	[映像] - [アスペクト] を選択する
シャープネス	映像の輪郭の見え方を調整します。	[画質] - [シャープネス] を選択する
イメージ強調	映像の解像感を調整します。	[画質] - [イメージ強調] を選択する
オートアイリス	表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある映像が楽しめます。	<ul style="list-style-type: none">•  ボタンを押す• [画質] - [オートアイリス] を選択する
フレーム補間	前後のフレームから中間のフレームを自動で生成して補間することで、動きの早い動画をなめらかに再生できます。	<ul style="list-style-type: none">•  ボタンを押す• [画質] - [フレーム補間] を選択する
色温度	映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。	[画質] - [色温度] - [色温度] を選択する
オフセット・ゲイン	R (赤) G (緑) B (青) の各色について、暗い部分 (オフセット) と明るい部分 (ゲイン) の明度を調整します。	[画質] - [色温度] - [カスタム] を選択する
RGBCMY	R (赤) G (緑) B (青) C (シアン) M (マゼンタ) Y (イエロー) の各色について、色相、彩度、明度を調整します。	[画質] - [アドバンスト] - [RGBCMY] を選択する
ガンマ	画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色を調整します。	[画質] - [アドバンスト] - [ガンマ] を選択する

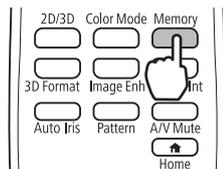
登録した画質で映像を見る（メモリー機能）

メモリーを登録する

環境設定メニューの「画質」の調整値を登録します。

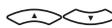
①  ボタンを押して、登録したい「画質」の設定にします。

②  ボタンを押します。



③  ボタンで「メモリー登録」を選択し、 ボタンを押して決定します。



④  ボタンで登録するメモリー名を選択し、 ボタンを押して決定します。



設定した状態がメモリーに登録されます。

メモリー名の左のマークが水色のときは登録済みです。登録済みのメモリー名を選択したときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。[[はい]]を選択すると、以前の内容を消去し、現在の状態を登録します。

メモリーの呼び出し / 削除 / 名称変更

登録したメモリーを呼び出したり、削除や名称変更ができます。

 ボタンを押し、表示された画面で目的の機能を選択します。

機能名	説明
メモリー呼出	登録したメモリーを呼び出します。メモリー名を選択し、  ボタンを押すと、表示中の映像の設定値が選択したメモリーの設定値に変更されます。
メモリー削除	登録したメモリーを削除します。メモリー名を選択し、  ボタンを押すとメッセージが表示されます。[はい] を選択し、  ボタンを押すと選択したメモリーが削除されます。
メモリー名称変更	メモリー名を変更します。変更するメモリー名を選択し、  ボタンを押します。ソフトキーボードでメモリー名を入力します。  p.59 入力が終了したら [Finish] にカーソルを合わせて、  ボタンを押します。

3D 映像を楽しもう

3D 映像を視聴するための準備

3D 映像を視聴する前に、以下を確認してください。

- ・入カソースが HDMI1/HDMI2 になっている
- ・[3D 表示] が [オート] または [3D] になっている
[2D] になっているときは、リモコンの  ボタンを押して [オート] または [3D] に切り替えてください。
☛ [映像] - [3D 設定] - [3D 表示] p.63
- ・3D メガネがペアリングされている
3D 映像は、オプションの 3D メガネ (ELPGS03) をかけて視聴します。使い方は、ELPGS03 に付属の取扱説明書でご確認ください。

本機は次の 3D フォーマットに対応しています。

- ・フレームパッキング
- ・サイドバイサイド
- ・トップアンドボトム

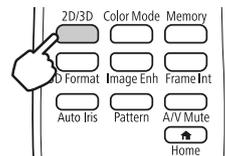
3D 映像が見えないときは

3D フォーマットが判別できる映像信号を受信すると、自動的に 3D 映像を投写します。

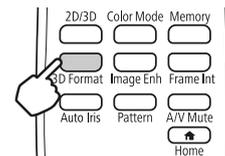
3D テレビ放送によっては、3D フォーマットを判別する信号が含まれていないことがあります。その場合は、次の手順で 3D フォーマットを設定してください。

①  ボタンを押して、[3D 表示] を [3D] にします。

 ボタンを押すたびに、[3D 表示] が [オート]、[3D]、[2D] に切り替わります。



②  ボタンを押して、AV 機器側の 3D フォーマットを選択します。



- ・3D 非対応の機器やケーブルを使用すると、3D 投写ができないことがあります。
- ・AV 機器側の 3D フォーマットの設定については、AV 機器の取扱説明書を参照してください。
- ・3D フォーマットが正しく設定されていないときは、以下のように映像が正しく表示されません。





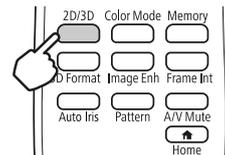
- 3D フォーマットを設定しても 3D 映像が表示されないときは、3D メガネの同期タイミングが逆になっていることがあります。[3D メガネ左右反転] で同期タイミングを反転してください。
☛ [映像] - [3D 設定] - [3D メガネ左右反転] p.63
- 3D 効果の見え方には個人差があります。
- 3D 映像の投写を開始したときに、視聴に関する注意が表示されます。注意を表示させたくないときは [3D 視聴上の注意] を [オフ] にします。
☛ [映像] - [3D 設定] - [3D 視聴上の注意] p.63
- 3D 投写中は環境設定メニューの次の機能は変更できません。アスペクト (ノーマル固定)、オーバースキャン (オフ固定)
- 3D 投写中は 2 画面機能が利用できません。
- 環境温度やランプ使用時間によっては 3D 映像の見え方が変わることがあります。

2D 映像を 3D に変換して見る

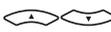
HDMI1/HDMI2 からの 2D 映像を 3D に変換します。

①  ボタンを押して、[3D 表示] を [オート] にします。

 ボタンを押すたびに、[3D 表示] が [オート]、[3D]、[2D] に切り替わります。



②  ボタンを押して、[映像]-[3D 設定]-[2D-3D 変換] の順でメニューを表示します。

③  ボタンで 3D 効果の強度を選択し、 ボタンを押して決定します。



3D 映像視聴に関する注意

3D 映像を視聴するときは、次のことに注意してください。

警告

- 3D メガネ充電時は、当社で指定の USB 端子に付属の充電ケーブルを接続してご使用ください。他の機器による充電は、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になることがあります。
- 付属の充電ケーブルは 3D メガネの充電用途以外に使用しないでください。発熱・発火・故障の原因になることがあります。

注意

3D メガネの使用について

- 3D 映像をご覧になる以外には使用しないでください。
- 3D 映像の見え方には個人差があります。違和感を感じたり、立体に見えない場合は、3D 機能のご使用をお控えください。そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。
- 3D メガネを装着し耳、鼻やこめかみが赤くなったり、痛みやかゆみを感じたら使用を中止してください。そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。

視聴時間について

3D 映像を視聴する場合は、定期的に適度な休憩をとってください。長時間の視聴による目の疲れなどの原因になることがあります。休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。休憩をとっても、疲労感、不快感がとれない場合は、使用を中止してください。

注意

視聴方法について

- 3D 映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください。そのまま使用しますと体調不良の原因となる場合があります。
- 3D 映像の視聴中は必ず 3D メガネを装着し、裸眼で 3D 映像を視聴しないでください。体調不良の原因となる場合があります。
- 3D メガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破壊してけがの原因となる場合があります。
- 3D メガネは 3D 映像視聴中のみ装着し、3D メガネを装着したまま移動しないようにしてください。周囲が暗くなり、転倒などによるけがの恐れがあります。
- スクリーンと（おおむね）水平な状態で視聴してください。傾いた状態で視聴を続けると、3D 効果を感じにくくなったり、映像の色が変わったりすることにより、体調不良の原因になる場合があります。
- 蛍光灯や LED 照明などをお使いの部屋で視聴すると、部屋全体がちらついてみえることがあります。その場合は、ちらつきが消えるまで明かりを暗くしたり、照明を消して視聴してください。このちらつきによって、ごくまれに、けいれん発作や失神などの症状が起きることがあります。視聴中に体調の変化を感じた場合は視聴を中止してください。
- 画面の高さの 3 倍以上の視距離で視聴してください。推奨距離は、画面 80 インチの場合 3.0m 以上、画面 100 インチの場合 3.6m 以上です。推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となる場合があります。



注意

視聴者について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しないでください。症状悪化の原因になることがあります。

視聴年齢について（お子様への注意）

- 3D映像の視聴年齢については、6歳以上を目安にしてください。
- 6歳未満のお子様の3D視聴については、視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
- お子様は3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、疲労感や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合がありますので、保護者の方が、目の疲れがないかご注意ください。

HDMI リンクで操作しよう

HDMI リンク機能

本機の HDMI 端子に HDMI CEC 規格に対応した AV 機器を接続すると、電源オン連動や AV アンプの音量調整などの連携動作がひとつのリモコンで操作できます。



- AV 機器が HDMI CEC 規格に対応していれば、中継する AV アンプが HDMI CEC 規格に対応していなくても HDMI リンク機能が利用できます。
- HDMI CEC 規格で同時に接続できるプレイヤーは 3 台までです。

接続例



[HDMI リンク] を [オン] にすると次の操作ができます。

☛ [設定] - [HDMI リンク] - [HDMI リンク] p.65

- 入力切替連動
接続機器のコンテンツ再生に連動して、本機の入力ソースが HDMI に切り替わります。

- 接続機器操作
本機のリモコンで、接続機器の再生 / 停止 / 早送り / 巻き戻し / チャプター送り / チャプター戻し / 一時停止 / 音量調整 / 音声ミュートなどの操作ができます。



HDMI リンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

接続する

HDMI リンクで利用可能な接続機器を確認し、映像を表示したい機器を選択できます。合わせて HDMI リンクで操作できる機器も切り替わります。

接続機器一覧を表示する前に、[HDMI リンク] が [オン] になっていることを確認してください。

☛ [設定] - [HDMI リンク] - [HDMI リンク] p.65



HDMI Link ボタンを押して [接続機器一覧] を選択します。

[接続機器一覧] が表示されます。

左側のマークが水色になっている機器が HDMI リンクされています。

機器名が取得できない場合は空欄になります。

写真データを再生しよう（スライドショー）

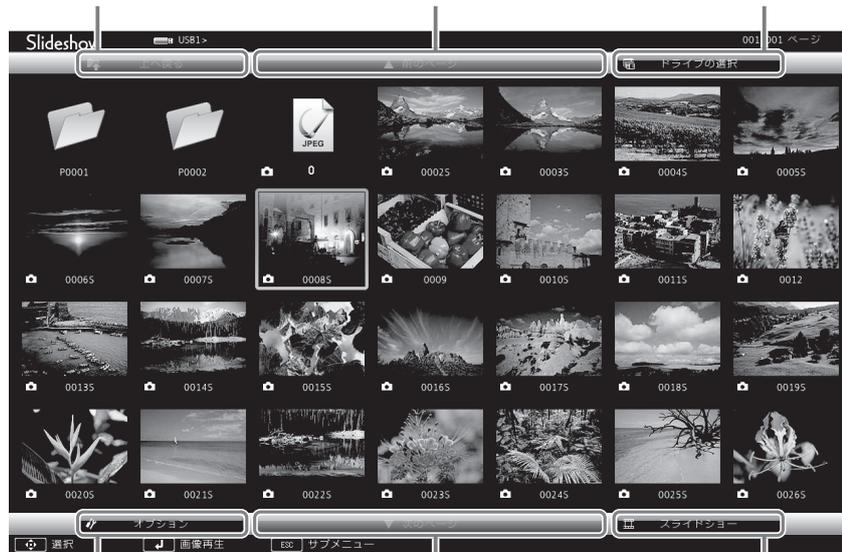
ファイル一覧画面の使い方

本機の USB 端子に USB メモリーやデジタルカメラなどの USB ストレージデバイスを接続すると、ファイル一覧画面が表示されます。

フォルダを開いているときに
1つ上の階層に戻ります。

前のページに戻ります。

ドライブの選択画面を表示します。



オプション設定画面を表示します。

次のページに進みます。

スライドショーを開始します。

再生できるデータ

スライドショーでは、USB ストレージデバイスに保存されている JPEG ファイルを再生できます。

次の JPEG ファイルは投写できません。

- CMYK カラーモード形式
- プログレッシブ形式
- 解像度が 8192 x 8192 以上



JPEG ファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。

スライドショーの実行

ファイル一覧画面で [スライドショー] を選択して、スライドショーを開始します。



- ファイル一覧画面が表示されないときは、リモコンの  ボタンを押して入力ソースを切り替えます。
- ファイル一覧画面で写真を 1 枚選択して  ボタンを押すと、選択した 1 枚を拡大して表示します。
- 1 枚を拡大して表示している画面でリモコンの  ボタンを押すと、画像を切り替えます。また、 ボタンで画像を回転できます。

スライドショーを終了するときは、USB ストレージデバイスを取り外します。

スライドショーの動作設定

ファイル一覧画面で [オプション] を選択して、ファイルの表示順序やスライドショーの動作を設定します。

各項目の詳細は次の表のとおりです。

項目名	説明
表示順序設定	表示するファイルの順序を、[ファイル名順]、[更新日付順] から選択します。
ソート方向	ファイルの並び替え方向を、[昇順]、[降順] から選択します。
繰り返し再生	繰り返し再生を実行するかを設定します。
表示時間設定	スライドショー再生で 1 つのファイルを表示する時間を、最大 60 秒までに設定できます。[なし] に設定したときは、自動送りは無効となります。
画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

設定が終了したら [OK] を選択し、変更内容を適用してください。
設定を適用したくない場合は [キャンセル] を選択してください。

2種類の映像を同時に 投写しよう（2画面）

2画面で投写する

HDMI1/HDMI2 入力端子の映像と Screen Mirroring 経由の映像を、1つのスクリーンの左右に同時に投写できます。

2画面で投写をはじめる前に、次のことを確認してください。

- プロジェクターと接続機器を Screen Mirroring で接続している。
- 入力ソースが HDMI1 または HDMI2 である。
- 2D 映像を投写している。

2画面を開始する

 ボタンを押して [設定] - [2画面] を選択し、 ボタンを押します。

左画面に HDMI1/HDMI2 入力端子の映像、右画面に Screen Mirroring 経由の映像が投写されます。

2画面を終了する

 ボタンを押します。

2画面の設定を変更する

2画面投写中に  ボタンを押すと、2画面の設定が変更できます。



各項目の詳細は次の表のとおりです。

項目名	説明
右画面表示形式	Screen Mirroring 経由の映像の向きや大きさを選択します。
音声切替	音声を出力するソースを選択します。[左画面] を選択すると HDMI1/HDMI2 入力端子の音声、[右画面] を選択すると Screen Mirroring 経由の音声を出力します。
2画面終了	2画面表示を終了します。

無線 LAN 経由で投写しよう

スマートフォンやタブレット端末、コンピューターの映像を無線 LAN 経由でプロジェクターから投写できます。

無線 LAN 経由で投写するには、事前にプロジェクターおよび接続機器の無線ネットワーク設定をします。本機には無線 LAN が内蔵されているため、無線 LAN ユニットの取り付けは不要です。

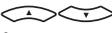
無線 LAN 経由で投写するには Epson iProjection を使用します。Epson iProjection は以下の方法で無料でダウンロードできますが、通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection (Windows/Mac) は、以下の Web サイトからダウンロードできます。
<http://www.epson.jp/download/>
- Epson iProjection (iOS/Android) は、App Store または Google Play からダウンロードできます。

プロジェクターのネットワーク設定をする

無線 LAN ネットワーク経由でプロジェクターに映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

- ①  ボタンを押して、[ネットワーク] - [無線 LAN 電源] の順でメニューを表示します。

- ②  ボタンで [オン] を選択し、 ボタンを押します。



- ③ [ネットワーク設定画面へ] を選択し、 ボタンを押します。



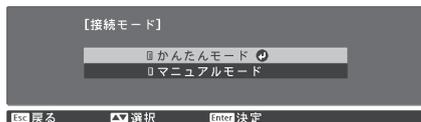
- ④ 必要に応じて [基本設定] の設定をします。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたスクリーンキーボードを使用します。リモコンの  ボタンを押して文字を選択し、 ボタンを押して入力します。

- ⑤ [無線 LAN] を選択し、 ボタンを押します。

6 [接続モード] を選択します。



- [かんたんモード] を選択したときは、手順 10 へ進みます。
- [マニュアルモード] を選択したときは、手順 7 へ進みます。

接続モードを切り替えるときは、画面の指示に従ってネットワーク設定を保存します。保存が完了すると[ネットワーク]メニューが表示されます。

7 [ネットワーク設定画面] - [無線 LAN] - [アクセスポイント検索] の順に選択し、接続する無線 LAN アクセスポイントを検索します。



8 SSID を手動で割り当てるときは、[SSID] を選択してプロジェクターの SSID を入力します。

9 必要に応じてプロジェクターに IP アドレスを割り当てます。

- DHCP を使用できるネットワークの場合は、[IP 設定] で [DHCP] を [オン] にします。
- DHCP を使用できないネットワークの場合は、[IP 設定] で [DHCP] を [オフ] にし、プロジェクターの [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。



10 設定が終わったら [設定完了] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

11 リモコンの ボタンを押して、LAN 待機画面に正しい IP アドレスが表示されたら設定完了です。

無線 LAN 設定が完了したら、接続機器の無線 LAN 設定をしてください。アプリケーションを起動して、無線 LAN 経由で映像を投写します。



SSID と IP アドレスが LAN 待機画面やホーム画面に表示されないようにするには、[SSID 表示] と [IP アドレス表示] を [オフ] に設定してください。

☞ [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面] - [無線 LAN] p.70

コンピューターの無線 LAN 設定をする

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線 LAN 設定をします。

Windows で無線 LAN を設定する

- 1 Windows タスクバーのネットワークアイコンをダブルクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2 マニュアルモードで接続するときは、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名 (SSID) を選択します。
- 3 [接続] をクリックします

Mac で無線 LAN を設定する

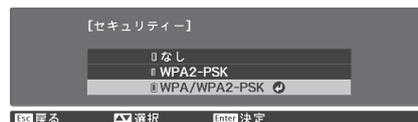
- 1 画面上部にあるメニューバーの AirMac アイコンをクリックします。
- 2 マニュアルモードで接続するときは、AirMac がオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名 (SSID) を選択します。

無線 LAN のセキュリティを設定する

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティーを設定できません。無線 LAN の [接続モード] に応じて、次のいずれかのセキュリティーを設定します。

- WPA2 セキュリティー
- WPA/WPA2 セキュリティー

- 1  ボタンを押して、[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [セキュリティー] の順でメニューを表示します。
- 2 セキュリティー設定をします。



- 3 設定が終わったら [設定完了] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

QRコードを使用してモバイルデバイスを接続する

プロジェクターの無線 LAN 設定が完了したら、投写画面に投写される QR コードを Epson iProjection (V1.3.0 以降) で読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを接続できます。



[かんたんモード] で Epson iProjection を使うときは、セキュリティーの設定をすることをお勧めします。

👉 p.50

1 ボタンを押して QR コードを表示します。



-  ボタンを押してホーム画面からも QR コードを表示できます。👉 p.26
- QR コードが表示されないときは、[ネットワーク] メニューで [LAN 情報表示] を [テキストと QR コード] に設定します。
👉 [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ]
- [基本設定] - [LAN 情報表示] p.70
- QR コードを非表示にしたいときは、 ボタンを押してください。

2 スマートフォンまたはタブレット端末で Epson iProjection を起動します。

3 投写されている QR コードを Epson iProjection で読み取ります。

QR コードがガイドに収まるようにスクリーンの正面から読み取ってください。スクリーンから離れ過ぎると読み取れないことがあります。

接続が完了したら、 から [コンテンツ] メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

Screen Mirroring で 投写しよう

Miracast を搭載したノート PC、スマートフォン、タブレット PC などのモバイルデバイスからプロジェクターに映像を送信できます。

Miracast に準拠しているデバイスであれば、ソフトウェアを追加でインストールする必要はありません。Windows コンピューターをお使いのときは、Miracast 接続に必要なアダプターが利用可能なことを確認してください。

Screen Mirroring 機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- インターレース映像は再生できません。
- 3 チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオは再生できません。
- 解像度 1920 x 1080 以上、フレームレート 30 fps を超える映像は投写できません。
- 3D 映像は再生できません。
- お使いのデバイスによっては、著作権保護されたコンテンツは Miracast 接続では再生できないことがあります。
- 電波干渉により、Bluetooth オーディオ機器の音声や接続が途切れることがあります。
- 接続機器によっては、Screen Mirroring 以外の入力ソースの映像を投写しているときでも、Screen Mirroring からの音声が出力され続けることがあります。
- Screen Mirroring での投写中に [Screen Mirroring 設定] は変更しないでください。設定を変更すると、接続が切断され、再接続までに時間がかかることがあります。
- Screen Mirroring での投写中は、電源プレーカーで直接本機の電源を切らないでください。



Miracast は、主に Android 端末や Windows 8.1 以降の Windows に搭載されています。デバイスによって、Miracast を搭載していないことがあります。お使いのモバイルデバイスの取扱説明書をご確認ください。

Screen Mirroring を設定する

Screen Mirroring で映像を投写するには、プロジェクターの [Screen Mirroring 設定] を設定します。

- ①  ボタンを押して、[ネットワーク] - [Screen Mirroring] の順でメニューを表示します。
- ②  ボタンで [オン] を選択し、 ボタンを押します。



- ③ [Screen Mirroring 設定] を選択し、**Enter** ボタンを押します。



- ④ 必要に応じて [ディスプレイ名] の設定をします。



- ⑤ 接続の詳細を設定する場合は、[動作モード] で [拡張モード] を選択します。

- ⑥ 必要に応じて [パフォーマンス調整] を設定します。

- ⑦ 手順5で [拡張モード] を選択した場合は、[拡張設定] を設定します。

- ⑧ 設定が終わったら [設定] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

Windows 10 で投写する

お使いのコンピューターでワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroring で接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- ① 必要に応じて本機の [Screen Mirroring 設定] を設定します。

- ② **LAN** ボタンを押して、Screen Mirroring ソースに切り替えます。

Screen Mirroring 待機画面が表示されます。

- ③ コンピューターで [アクションセンター] を表示し、[接続] を選択します。



接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

4 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。



5 コンピューターに PIN 入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring 待機画面または投写している映像の右下に表示されている PIN コードを入力します。

コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスがフリーズしたり、誤作動する原因になります。

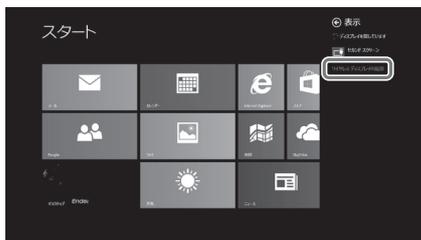
Windows 8.1 で投写する

Windows 8.1 のコンピューターをお使いのときは、チャームからワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroring で接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1 必要に応じて本機の【Screen Mirroring 設定】を設定します。
- 2 ボタンを押して、Screen Mirroring ソースに切り替えます。
Screen Mirroring 待機画面が表示されます。
- 3 コンピューターでチャームの【デバイス】を選択し、【表示】を選択します。



4 [ワイヤレスディスプレイの追加] を選択します。



接続可能なデバイス一覧が表示されます。

5 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。



6 コンピューターに PIN 入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring 待機画面または投写している映像の右下に表示されている PIN コードを入力します。

コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスがフリーズしたり、誤作動する原因になります。

Miracast 機能を使って投写する

Miracast が搭載されたスマートフォンなどのモバイルデバイスをお使いのときは、Miracast 機能を使ってワイヤレスに映像を投写できます。

Screen Mirroring で接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

1 必要に応じて本機の【Screen Mirroring 設定】を設定します。

2  ボタンを押して、Screen Mirroring ソースに切り替えます。

Screen Mirroring 待機画面が表示されます。

3 モバイルデバイスで Miracast 機能を使用してプロジェクターを検索します。

接続可能なデバイス一覧が表示されます。

4 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。

5 モバイルデバイスに PIN 入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring 待機画面または投写している映像の右下に表示されている PIN コードを入力します。

モバイルデバイスの映像がプロジェクターから投写されません。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスがフリーズしたり、誤作動する原因になります。

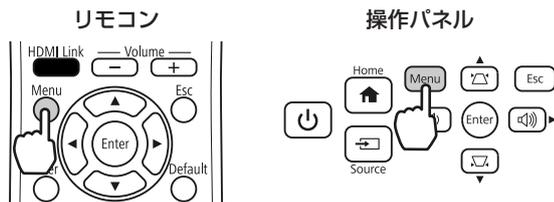
モバイルデバイスによっては、接続時にデバイスの削除が必要になることがあります。モバイルデバイスの画面の指示に従って操作してください。

環境設定メニューの機能

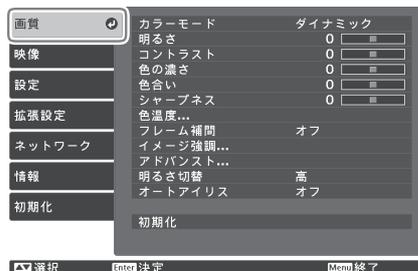
環境設定メニューの操作

環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。

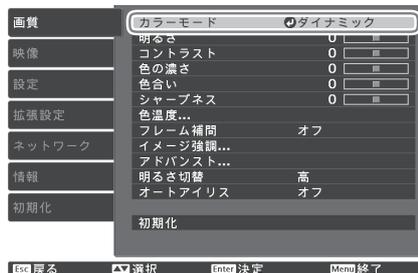
1 Menu ボタンを押します。



2 ボタンで左側のトップメニューを選択し、
 ボタンを押して決定します。



3 ボタンで右側のサブメニューを選択し、
 ボタンを押して決定します。



4 ボタンで設定値を調整します。

例) 調整バー



例) 選択肢



が表示されている項目で ボタンを押すと、その項目の選択画面に移行します。

一階層戻るときは ボタンを押します。

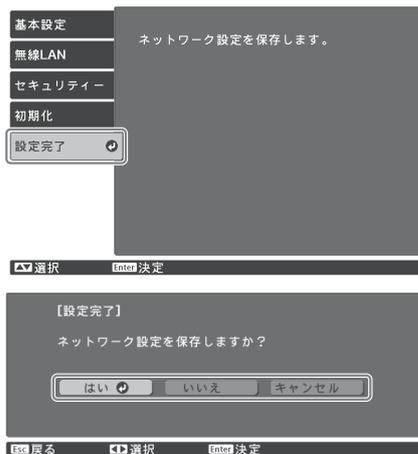
5 Menu ボタンを押してメニューを終了します。



明るさなど調整バーで調整する項目は、調整画面が表示されているときに Default ボタンを押すと調整値が初期値に戻ります。

ネットワークメニュー操作上のご注意

基本的な操作は環境設定メニューと同様ですが、終了する際には必ず「設定完了」メニューを選択し、設定を保存してください。



- [はい]：設定を保存してネットワークメニューを終了します。
- [いいえ]：設定を保存せずにネットワークメニューを終了します。
- [キャンセル]：ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定するときに、ソフトキーボードが表示されます。

リモコンの ボタンまたは操作パネルの ボタンでキーを選択し、 ボタンを押して入力します。

Finish を選択すると入力が確定し、Cancel を選択すると入力は取り消されます。



CAPS キー：アルファベットの太文字 / 小文字を切り替えます。
SYM1/2 キー：記号キーを切り替えます。

環境設定メニュー一覧

映像信号が入力されていないときは、環境設定メニューの [画質] と [映像] の項目は調整できません。

また、[画質]、[映像]、[情報] は、投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

画質メニュー

名称	メニュー / 設定値	機能
カラーモード	ダイナミック	明るい部屋での使用に適した色合いに調整します。
	ブライトシネマ	明るい部屋での使用に適した色合いに調整します。[ダイナミック] に比べて鮮やかでメリハリのあるクリアな映像になります。
	ナチュラル	暗い部屋での使用に適した色合いに調整します。映像の色調整を行うときは、本モードを選択することをお勧めします。
	シネマ	暗い部屋で映画やコンサート映像を楽しむのに適した色合いに調整します。
	3D ダイナミック	3D 映像をメリハリのある明るい映像に調整します。
	3D シネマ	[3D ダイナミック] に比べてきれいな色を再現します。
明るさ		映像が暗く感じるときに調整します。
コントラスト		映像の明暗の差を調整します。コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。
色の濃さ		映像の色の濃さを調整します。
色合い		映像の色合いを調整します。
シャープネス		映像のシャープ感を調整します。数値を大きくするとくっきりとした映像になり、数値を小さくするとソフトな映像になります。
色温度		
色温度		映像全体の色合いを調整します。数値を大きくすると青みがかった映像になり、数値を小さくすると赤みを帯びた映像になります。
カスタム		R/G/B ごとにオフセットとゲインを調整します。+側 (右側) にすると明るく、-側 (左側) にすると暗くなります。

名称	メニュー / 設定値	機能
フレーム補間* ¹	オフ、弱、標準、強	([映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可能) 映像の動きの滑らかさを調整します。
イメージ強調* ²		
イメージ強調プリセット	オフ、プリセット1～プリセット5	[ノイズリダクション]、[MPEG ノイズリダクション]、[ディテール強調] の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
ノイズリダクション		([映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可能) 映像のざらつきを抑えます。
MPEG ノイズリダクション		MPEG 形式の映像のざらつきを抑えます。
ディテール強調		映像の質感や素材感を際立たせます。映像によっては色の境目にハイライトが目立つ場合があります。気になるときは、設定値を小さく設定してください。
アドバンスト		
ガンマ	2,1,0,-1,-2 カスタム* ³ 初期化	画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色を調整します。 ガンマ調整グラフの横軸は入力信号レベルを、縦軸は出力信号レベルを表します。 数値が大きいほど映像の暗い部分が明るくなり、数値が小さいと映像の明るい部分が暗くなります。
RGBCMY	R/G/B/C/M/Y	R/G/B/C/M/Y ごとに色相、彩度、明度を調整します。 ・[色相]：映像全体の色合いを、青系～緑系～赤系に調整します。 ・[彩度]：映像全体の鮮やかさを調整します。 ・[明度]：映像全体の色の明るさを調整します。
EPSON Super White	オン、オフ	(HDMI1/HDMI2 入力端子からの信号入力時のみ設定可能) 白の部分が明るく白とびしているときは [オン] に設定します。[オン] に設定している場合は、[HDMI ビデオレベル] での設定は無効になります。
明るさ切替	高、低	ランプの明るさを 2 段階で切り替えます。 投写映像が明るすぎるときは [低] に設定します。[低] で使用すると投写中の消費電力、ファン回転音が減少します。
オートアイリス	オフ、標準、高速	映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を設定します。
初期化	はい、いいえ	現在のカラーモードで設定した [画質] の調整値を初期値に戻します。

- ※ 1 HDMI1/HDMI2 映像信号（1080p 24Hz）入力時のみ表示されます。
- ※ 2 HDMI1/HDMI2/PC/Screen Mirroring 映像信号入力時のみ表示されます。
- ※ 3 入力ソースやカラーモードごとに設定値が保存されます。

映像メニュー

USB/LAN 映像信号入力時には映像メニューは設定できません。

名称	メニュー / 設定値	機能
3D 設定 ^{*1}		
3D 表示	オート、3D、2D	3D 映像を視聴するときは、[オート] または [3D] に設定します。● p.38
3D 方式設定	サイドバイサイド、トップアンドボトム	入力信号の 3D 方式を設定します。
2D-3D 変換	オフ、弱、中、強	2D 映像を 3D 映像に変換して投写します。
3D 奥行き調整	-10 ~ 10	3D 映像の奥行き感を設定します。
映像サイズ	60 ~ 300	3D 映像の投写サイズを設定します。実サイズに合わせることで、適切な 3D 効果になります。
3D 明るさ調整	低、中、高	3D 映像の明るさを設定します。
3D メガネ左右反転	はい、いいえ	3D メガネの左右のシャッターと左右映像との同期タイミングを反転します。映像で 3D の効果が正しく表示されない場合に設定します。
3D 視聴上の注意	オン、オフ	3D 視聴に関する注意の表示 / 非表示を切り替えます。
アスペクト ^{*2, *5}	オート ^{*1}	入力信号と [入力解像度] の設定に従って、アスペクト比が自動的に設定されます。
	ノーマル	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの縦幅に合わせて映像を表示します。
	フル ^{*3}	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
	ズーム ^{*3}	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの横幅に合わせて映像を表示します。
トラッキング ^{*2, *3}	入力信号によって異なります。	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期 ^{*2, *3}	0 ~ 31	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 <ul style="list-style-type: none"> • ちらつき、ぼやけは [明るさ] / [コントラスト] / [シャープネス] の調整で発生することもあります。 • [トラッキング] の調整後に [同期] を調整すると、より鮮明に調整できます。
表示位置 ^{*2, *3}		映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像の投写範囲を調整します。

名称	メニュー / 設定値	機能
自動調整 ^{*3}	オン、オフ	入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整するかどうかを設定します。自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。
オーバースキャン ^{*2}	オート ^{*1} 、オフ、4%、8%	<p>出画率（投写する映像の範囲）を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [オフ]、[4%]、[8%]：映像の範囲を設定します。[オフ] はすべての範囲を投写します。映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。 ・ [オート]：入力信号によって自動的に [オフ] または [8%] に設定されます。
アドバンスト		
HDMI ビデオレベル ^{*1, 2}	オート、通常、拡張	<p>（[EPSON Super White] が [オフ] の場合のみ設定可能）</p> <p>[オート] に設定すると、本機の HDMI1/HDMI2 入力端子への DVD 入力信号のビデオレベルを自動判別し設定します。</p> <p>[オート] に設定していて映像に黒つぶれや白とびが生じるときは、DVD プレイヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。DVD プレイヤー側の設定では、Normal（通常）、Expand（拡張）となっていることがあります。</p>
映像処理 ^{*1, 3, 4}	きれい、速い	ゲームなどの動きの速い投写映像に対し、応答速度を向上させる処理をします。
初期化	はい、いいえ	[映像] のうち、[映像サイズ]、[3D 視聴上の注意]、[アスペクト] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

※ 1 HDMI1/HDMI2 映像信号入力時のみ表示されます。

※ 2 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

※ 3 PC 映像信号入力時のみ表示されます。

※ 4 Screen Mirroring 映像信号入力時のみ表示されます。

※ 5 著作権法上で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

設定メニュー

名称	メニュー / 設定値	機能
台形補正		
タテヨコ	タテ補正	タテ方向のゆがみを補正します。👉 p.31
	ヨコ補正	ヨコ方向のゆがみを補正します。👉 p.31
	自動タテ補正	[自動タテ補正] の有効 / 無効を切り替えます。👉 p.30
	スライド式ヨコ補正	[スライド式ヨコ補正] の有効 / 無効を切り替えます。👉 p.31
Quick Corner	－	投写映像の 4 つの角を選んで補正します。👉 p.32
2 画面	－	画面を 2 つに分割し、HDMI ソースと Screen Mirroring ソースの映像を表示します。
音量	0 ～ 20	音量を調整します。
HDMI リンク		
接続機器一覧	－	HDMI1/HDMI2 入力端子に接続している機器の一覧を表示します。
HDMI リンク	オン、オフ	HDMI リンク機能の有効 / 無効を切り替えます。
音声出力機器	プロジェクター、AV アンプ	AV アンプを接続している場合に、本機のスピーカーから音声を出力するか、AV アンプのスピーカーから音声を出力するかを設定します。
電源オン連動	オフ、双方向、接続機器 → PJ、PJ → 接続機器	電源オンの連動機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 接続機器での操作に連動して本機の電源を入れるときは、[双方向] または [接続機器 → PJ] を選択します。 本機の電源オンに連動して接続機器の電源を入れるときは、[双方向] または [PJ → 接続機器] を選択します。
電源オフ連動	オン、オフ	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源を切るかどうかを設定します。
Bluetooth		
Bluetooth 機器検索	－	接続可能な Bluetooth 機器を検索して一覧を表示します。

名称	メニュー / 設定値	機能
Bluetooth オーディオ	オン、オフ	Bluetooth オーディオ機器からの音声出力の有効 / 無効を切り替えます。 以下の場合には設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 入力ソースが LAN になっている • [HDMI リンク] メニューの [音声出力機器] が [AV アンプ] に設定されている
接続機器	—	接続中の Bluetooth 機器の情報を表示します。
ロック設定		
チャイルドロック	オン、オフ	<ul style="list-style-type: none"> • お子様が悪くて電源を入れないように、操作パネルの  ボタンでの電源オンをロックします。ロック時は、 ボタンを約 3 秒間押し続けると電源が入ります。 ボタンでの電源オフやリモコンでの操作は通常どおり行えます。 • 設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に設定が有効になります。 • [ダイレクトパワーオン] を [オン] に設定しているときは、[チャイルドロック] を [オン] に設定していても、本機に電源コードを接続するだけで投写が開始されますので、注意してください。
操作ボタンロック	全ロック、操作ロック、オフ	<p>[全ロック]：操作パネルのすべてのボタン操作が無効になります。</p> <p>[操作ロック]：操作パネルの  ボタン以外のボタン操作が無効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロック中にボタン操作を行うと画面上に  が表示されます。解除するには、本体操作パネルの  ボタンを約 7 秒以上押し続けます。 • 設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示終了後に設定が有効になります。
ユーザーボタン	きれい / 速い、2D-3D 変換、明るさ切替、情報、QR コード表示	リモコンの  ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。  ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択 / 調整画面が直接表示されるので、ワンタッチで設定 / 調整の変更が行えます。
メモリー		
メモリー呼出	Memory 1 ~ Memory 10	メモリー登録した設定値を呼び出して映像を調整します。
メモリー登録	Memory 1 ~ Memory 10	[画質] で設定した設定値をメモリーとして登録します。
メモリー削除	Memory 1 ~ Memory 10	登録したメモリーを削除します。

名称	メニュー / 設定値	機能
メモリー名称変更	Memory1 ~ Memory10、 デフォルト、DVD、VCR、 SDTV、HDTV、Cinema、 Sports、Music、Anime、 Game、カスタム	メモリーの登録名を変更します。
初期化	はい、いいえ	[設定] のうち、[音声出力機器]、[電源オン連動]、[電源オフ連動]、[ユーザーボタン]、[メモリー] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

拡張設定メニュー

名称	メニュー / 設定値	機能
ホーム画面設定		
ホーム画面自動表示	オン、オフ	[オン] に設定すると、本機の電源を入れたときにホーム画面を自動で表示します。電源投入時に、映像信号がある入力ソースを選択しているときは、ホーム画面は表示されません。
カスタム機能 1、カスタム機能 2	明るさ切替、オートアイリス、台形補正、情報	ホーム画面に割り当てる機能を選択します。
表示設定		
メッセージ表示	オン、オフ	次のメッセージ表示をする（オン） / しない（オフ）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 映像信号やカラーモード、アスペクトの項目名表示 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時
背景表示	黒、青、ロゴ	映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。
スタートアップスクリーン	オン、オフ	スタートアップスクリーン（投写開始時に投写される映像）を表示する（オン） / しない（オフ）を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。
型番表示モード	オン、オフ	プロジェクターの型番を表示します。
設置モード	フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り	設置状況に応じた投写方法を選択します。
動作設定		
ダイレクトパワーオン	オン、オフ	本機に電源コードを接続するだけで、ボタン操作なしに投写できるよう設定できます。[オン] に設定しているときは、停電復旧時などに電源コードが接続されると、投写が開始されますので注意してください。
スリープモード	オン、オフ	一定時間映像信号の入力がないときや、電源がオンの状態でレンズカバーが一定時間閉じたままのときに、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。スタンバイ状態になっているときは、リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押すと投写を再開します。
スリープモード時間	1 ~ 30	[スリープモード] で電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。

名称	メニュー / 設定値	機能
イルミネーション	オン、オフ	部屋を暗くして映画などを鑑賞中に、操作パネルのインジケータの点灯が気になるときは [オフ] にします。
高地モード	オン、オフ	標高約 1500 m 以上でお使いの場合は [オン] にします。
自動入力検出	オン、オフ	[オン] に設定すると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの入力信号を検出します。
待機モード	通信オフ、通信オン	[通信オン] に設定すると、スタンバイ状態でもネットワーク経由で本機の状態が監視できます。
言語	—	表示する言語を選択します。
初期化	はい、いいえ	[拡張設定] のうち、[設置モード]、[高地モード]、[自動入力検出]、[待機モード]、[言語] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

ネットワークメニュー

名称	メニュー / 設定値	機能
Screen Mirroring	オン、オフ	Screen Mirroring の有効 / 無効を切り替えます。
Screen Mirroring 情報	ディスプレイ名、MAC アドレス、地域コード、チャンネル、接続端末	Screen Mirroring の情報を表示します。
Screen Mirroring 設定		
ディスプレイ名	—	([Screen Mirroring] が [オン] の場合のみ設定可能) 接続可能なデバイス一覧から本機を識別するための名前を入力します。
動作モード	基本モード、拡張モード	[拡張設定] を有効にするときは [拡張モード] を選択します。
パフォーマンス調整	1 (きれい)、2、3、4 (速い)	([Screen Mirroring] が [オン] の場合のみ設定可能) 映像の表示速度と品質を調整します。映像の表示品質を上げるには小さい値を選択し、表示速度を上げるには大きい値を選択します。
拡張設定	割り込み接続	([拡張設定] が [拡張モード] の場合のみ設定可能) Screen Mirroring での投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられるようにするには [オン] を、切り替えられないようにするには [オフ] を選択します。
	チャンネル	([拡張設定] が [拡張モード] の場合のみ設定可能) Screen Mirroring で使用する周波数チャンネルを選択します。
初期化	はい、いいえ	[Screen Mirroring 設定] のすべての調整値を初期値に戻します。
無線 LAN 電源	オン、オフ	無線 LAN 電源の有効 / 無効を切り替えます。
ネットワーク情報 - 無線 LAN	—	以下のネットワークの設定状況を表示します。 接続モード、無線 LAN 方式、アンテナレベル、プロジェクター名、SSID、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、MAC アドレス、地域コード
QR コード表示	—	([無線 LAN 電源] が [オン] の場合のみ設定可能) 本機のネットワーク情報を QR コードで表示します。
ネットワーク設定画面へ	—	ネットワークの設定メニューへ移行します。  p.71

基本設定メニュー

名称	メニュー / 設定値	機能
プロジェクター名	16 文字以内の半角英数	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を入力します。
Remote パスワード	8 文字以内の半角英数	スマートフォンやタブレット端末から本機を操作するときに必要な、認証用パスワードを設定します。
LAN 情報表示	テキストと QR コード、テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。

無線 LAN メニュー

名称	メニュー / 設定値	機能
接続モード	かんたんモード	1 台のスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと無線で直接接続するときに選択します。
	マニュアルモード	無線 LAN アクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続するときに選択します。インフラストラクチャーモードで接続が構成されます。
チャンネル設定	1ch、6ch、11ch	([接続モード] が [かんたんモード] の場合のみ設定可能) 無線 LAN で使用する周波数の帯域を選択します。
SSID	32 文字以内の半角英数	([接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能) SSID を入力します。本機が参加する無線 LAN システムで SSID が定められているときは、その SSID を入力します。
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	([接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能) 無線 LAN アクセスポイントを検索します。 📶 は現在接続中のアクセスポイントを表します。🔒 はセキュリティが設定されているアクセスポイントを表します。 セキュリティが設定されているアクセスポイントを選択するとセキュリティメニューに移行します。👉 p.72

名称	メニュー / 設定値	機能
IP 設定 ([接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能)	DHCP	DHCP を使用する (オン) / しない (オフ) を設定します。[オン] に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
	IP アドレス	本機の IP アドレスを入力します。 以下の IP アドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0 ~ 255.255.255.255(x は 0 ~ 255 の数字)
	サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。 以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
	ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイの IP アドレスを入力します。 以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0 ~ 255.255.255.255(x は 0 ~ 255 の数字)
SSID 表示	オン、オフ	LAN 待機画面とホーム画面上に SSID を表示する (オン) / しない (オフ) を設定します。
IP アドレス表示	オン、オフ	LAN 待機画面とホーム画面上に IP アドレスを表示する (オン) / しない (オフ) を設定します。

セキュリティーメニュー

名称	メニュー / 設定値	機能
セキュリティー	なし、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	セキュリティーを設定します。 [かんたんモード] 時は [WPA2-PSK]、[マニュアルモード] 時は [WPA/WPA2-PSK] を選択できます。
パスフレーズ	8 ~ 32 文字の半角英数	パスフレーズを入力します。 セキュリティーを確保するために、定期的に変更することをお勧めします。

初期化メニュー

名称	機能
ネットワーク設定を初期化します。	[ネットワーク] のすべての調整値を初期値に戻します。

情報メニュー

名称	メニュー / 設定値	機能
プロジェクター情報	ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。
	入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
	入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
	入力解像度	入力解像度を表示します。
	走査方式	走査方式を表示します。
	リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示します。
	3D 方式	3D 映像投写時に入力されている信号の 3D 方式（フレームパッキング / サイドバイサイド / トップアンドボトム）を表示します。
	同期情報	映像信号の情報を表示します。
	色深度	色深度を表示します。
	ステータス	本機に発生した異常についての情報です。
	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
	Event ID	アプリケーションエラーログを表示します。● p.88
バージョン	Main	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
	Video2	
	Screen Mirroring	

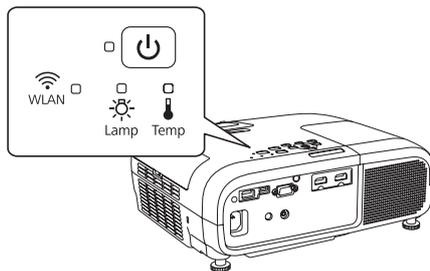
初期化メニュー

名称	機能
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積を [0 H] に戻します。ランプ交換をしたときに行ってください。
メモリー初期化	[メモリー] のすべての項目を初期設定に戻します。
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [メモリー]、[ランプ点灯時間]、[言語] と [ネットワーク] メニューのすべての調整値は初期値に戻りません。

故障かなと思ったら

インジケータの見方

本機の状態は、操作パネルの 、（オペレーションインジケータ）、、、 の点灯や点滅で確認できます。



次の表でインジケータの状態と対処方法を確認してください。

異常 / 警告時のインジケータの状態

: 青点灯 : 青点滅 : 橙点灯 : 橙点滅 : 消灯 : 状態維持

インジケータ	状態	対処方法
   	ランプ交換勧告	ランプの交換時期です。速やかに新しいランプと交換してください。● p.93 このまま使い続けるとランプが破裂するおそれがあります。
   	高温警告	このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写を自動的に停止します。 ・ 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を 20cm 以上あけてください。 ・ エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。● p.90
   	内部異常	本体の故障です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

インジケーター	状態	対処方法
	ファン異常 センサー異常	本体の故障です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。
	オートアイリス異常	
	電源系異常 (バラスト)	
	ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプカバー開放状態	ランプに異常があるか、点灯に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> 電源コードを抜いてからランプが割れていないか確認します。ランプが割れていなければ、ランプを再セットし、本機の電源を入れます。ランプを再セットしても直らないときやランプが割れているときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ランプカバーがきちんと閉まっているか確認してください。
	内部高温異常 (オーバーヒート)	内部が高温になっています。 <ul style="list-style-type: none"> ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約 5 分間そのままの状態を待ちます。ファンが停止したら、電源コードを抜きます。 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を 20cm 以上あけてください。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。☛ p.90 標高 1500m 以上でお使いの場合は、必ず [高地モード] を [オン] にしてください。☛ [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.68 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、電源コードを抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

正常時のインジケータの状態

●: 青点灯 ◐: 青点滅 ○: 橙点灯 ◑: 橙点滅 □: 消灯 ☹: 状態維持

インジケータ	状態	対処方法
 	スタンバイ状態	リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押すと、しばらくして投写を開始します。
 	ウォームアップ中 クールダウン中	ウォームアップの時間は約 30 秒です。ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。 クールダウン中はすべての操作は無効になります。クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。万一、クールダウン中に電源コードを抜いたときは、ランプが十分に冷えてから（約 10 分必要）、再び電源コードを接続し、リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押してください。
 	投写中	通常動作中です。



- ・正常動作時は  と  インジケータは消灯しています。
- ・[イルミネーション] 機能が [オフ] の場合は正常な投写中にインジケータがすべて消灯しています。
-  [拡張設定] - [動作設定] - [イルミネーション] p.68

無線 LAN インジケータの状態

●: 青点灯 ●: 青点滅 ●: 橙点灯 ●: 橙点滅 ○: 消灯 目: 状態維持

インジケータ	状態	対処方法
	接続待ち	無線 LAN 接続ができます。
 (速い点滅)	接続中	無線 LAN で接続中です。
 (遅い点滅)	エラー	無線 LAN の異常状態です。[ネットワーク] メニューで [無線 LAN 電源] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定します。 問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターにご相談ください。
	起動中 無線 LAN オフ	無線 LAN 接続できません。[ネットワーク] メニューで [無線 LAN 電源] が [オン] に設定されていることを確認します。

インジケータを確認してもわからないとき

電源が入らない、予期せず切れる p.79

本機の電源が入らないときや、使用中に電源が切れてしまうときをご覧ください。

映像が写らない p.80

以下のときをご覧ください。

- 接続している機器の映像が写らない
- 投写画面に「映像信号が入力されていません」などのメッセージが表示される

写っている映像がおかしい p.82

以下のときをご覧ください。

- 映像がぼやける、ゆがむ、乱れる
- 映像の色合いが違う、暗い
- 映像の一部が表示されない
- 映像が上下反転している
- 映像が 3D 表示にならない

音が出ない、小さい p.84

本機や接続機器から音が出ないときをご覧ください。

リモコンで操作できない p.85

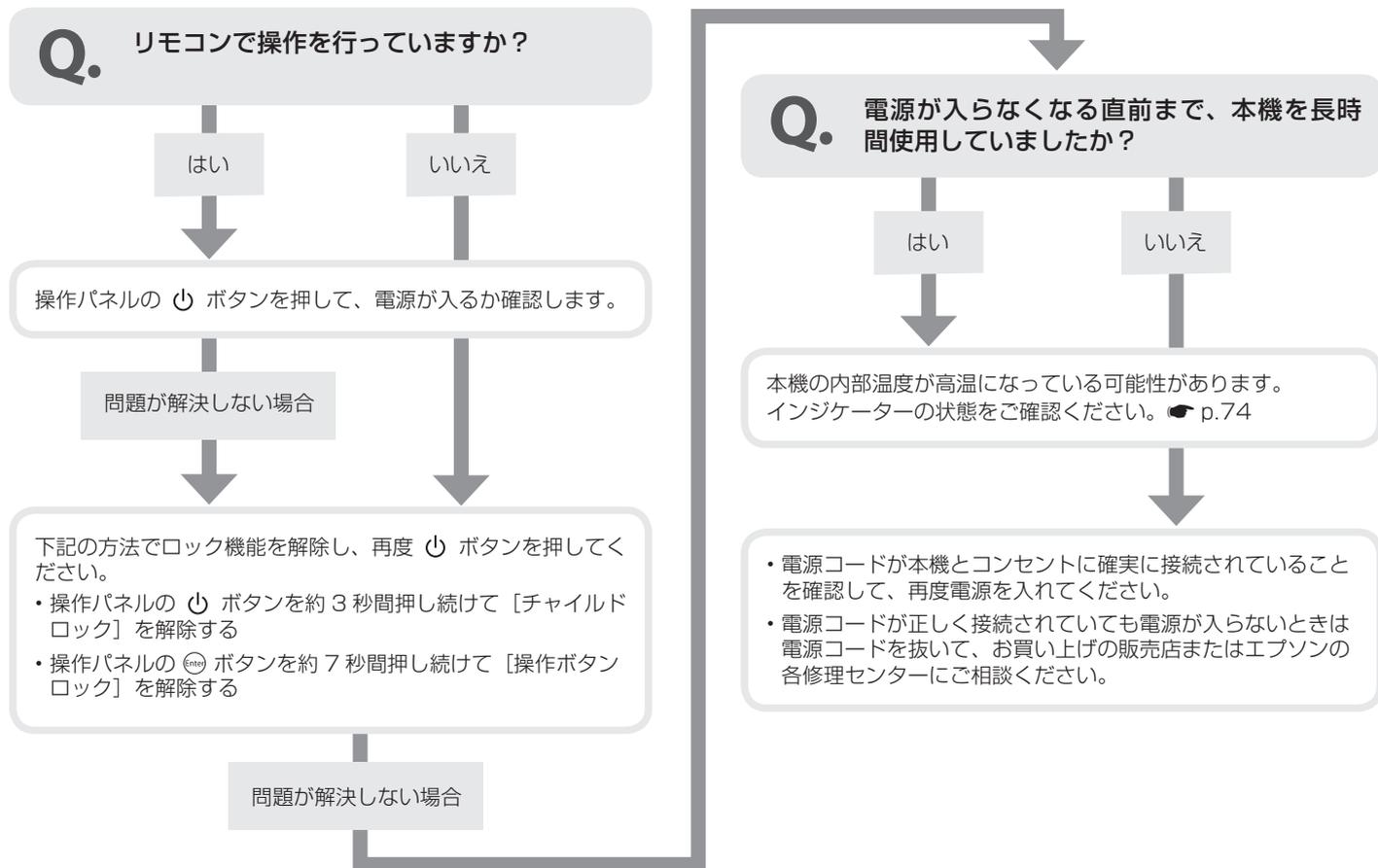
本機がリモコンでの操作に反応しないときや、リモコンを紛失したときをご覧ください。

ネットワークに関するトラブル p.86

以下のときをご覧ください。

- 無線 LAN や Screen Mirroring で接続できない
- ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

電源が入らない、予期せず切れる



映像が写らない

Q.

投写画面に以下が表示されていますか？

- ・ ホーム画面
- ・ 青い画面
- ・ 「映像信号が入力されていません」などのメッセージ

はい

いいえ

プロジェクターの状態を確認する

- ・ レンズカバーが開ききっていることを確認します。
- ・ インジケータの状態が「投写中」になっていることを確認します。 ● p.76
- ・ リモコンの  ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。

問題が解決しない場合

プロジェクターの設定を確認する

- ・ 正しい入力ソースを選択します。 ● p.25
- ・ スリープモードが無効になっていることを確認します。
● [拡張設定] - [動作設定] - [スリープモード] p.68

問題が解決しない場合

接続ケーブルの状態を確認する

- ・ 必要なケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- ・ すべてのケーブルのコネクターが、端子の奥までしっかり差さっていることを確認します。
- ・ スイッチャーや AV アンプ、USB ハブなどを介さず、本機と接続機器を直接接続してください。
- ・ HDMI CEC 規格のプレイヤーは同時に 3 台までしか接続できません。プレイヤーの数を確認してください。

問題が解決しない場合

問題が解決しない場合

接続機器の状態を確認する

- 機器の電源が入っていることを確認します。
- 必要に応じてプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- HDMI 機器を接続しているときは、接続機器が HDMI CEC 規格に対応していることを確認します。
- Bluetooth 機器を接続しているときは、接続機器が以下に該当することを確認します。
 - 著作権保護 (SCMS-T) に対応している
 - A2DP に準拠している
- USB ストレージデバイスを接続しているときは、デバイスが以下に該当することを確認します。
 - セキュリティ機能が付いていない
 - フォーマット形式が FAT または FAT32 である

ノート型コンピューターを接続しているとき

- コンピューターの出力設定を切り替えます。
- コンピューターから動画を出力するときは、コンピューターの映像信号が外部に出力されていることを確認します。
- 入力映像が黒一色でないことを確認します。
- コンピューターがスリープモードでないことを確認します。

すべて確認しても写らないときは

- 本機の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- 接続している機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- HDMI 機器を接続しているときは、接続機器の CEC 機能を設定しなおします。
- Bluetooth 機器を接続しているときは、[Bluetooth 機器検索] を実行し、一覧から接続機器を選択しなおします。
 - ☛ [設定] - [Bluetooth] - [Bluetooth 機器検索] p.65
- コンピューターを接続しているときは、コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。
- 環境設定メニューの全項目を初期値に戻します。
 - ☛ [初期化] - [全初期化] p.73

写っている映像がおかしい

映像がゆがむ



- 自動または手でゆがみを補正します。
☛ p.30
- スクリーンと平行になるように、本機の設置位置を調整します。

映像が上下反転している



適切な設置モードを選択します。☛ p.15

映像がぼやける



- フォーカススライダーでピントを調整します。☛ p.28
- 本機の設置位置がスクリーンから遠すぎるか、スクリーンに近すぎる可能性があります。本機の設置位置を調整してください。

問題が解決しない場合



- 本機のレンズを掃除します。☛ p.92
- レンズが結露している場合は、本機の電源を切ってしばらく放置してください。

映像の一部が表示されない



- 入力信号に合ったアスペクトモードを選択します。
☛ [映像] - [アスペクト] p.63
- 表示位置を適切に調整します。
☛ [映像] - [表示位置] p.63
- コンピューターの映像を投写しているときは、以下を確認してください。
 - コンピューターのデュアルディスプレイの設定が無効になっているか
 - ディスプレイの解像度が本機の対応解像度に合っているか

映像にノイズが入る、乱れる



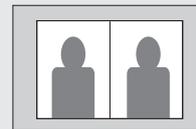
- 必要なケーブルが確実に接続されていることを確認します。
- ケーブルを延長していないことを確認します。
- コンピューターの映像を投写しているときは、以下を確認します。
 - ディスプレイの解像度が本機の対応解像度に合っているか
 - [トラッキング] と [同期] が正しく調整されているか
☞ [映像] - [トラッキング] / [同期] p.63
- Bluetooth 機器を接続しているときは、以下を確認します。
 - プロジェクターと Bluetooth 機器の距離が 10m を超えないか
 - プロジェクターと Bluetooth 機器の間に障害物が無いか
 - 電波干渉を引き起こす機器が周囲に無いか

映像の色合いが違う、暗い



- 映像の色合いや明るさ、コントラストを調整します。☞ p.34
- 投写開始時にランプ交換メッセージが表示されている場合は、新しいランプに交換します。

映像が 3D 表示にならない



- 入力映像が 3D に対応していることを確認します。
- リモコンの ^{2D/3D} ボタンを押して [3D 表示] を [3D] または [オート] に設定します。
- AV 機器と本機の 3D フォーマットが合っていることを確認します。
☞ [映像] - [3D 設定] - [3D 方式設定] p.63
- プロジェクターと 3D メガネの距離が 10m 以内になるよう調整します。
- 電波干渉を引き起こす機器が周囲に無いことを確認します。

問題が解決しない場合

3D メガネの取扱説明書を参照し、再度ペアリングを実行してください。

音が出ない、小さい

Q. 音量調整が最小になっていませんか？

はい

いいえ

リモコンの   ボタンまたは操作パネルの   ボタンで、聞こえる音量に調整してください。

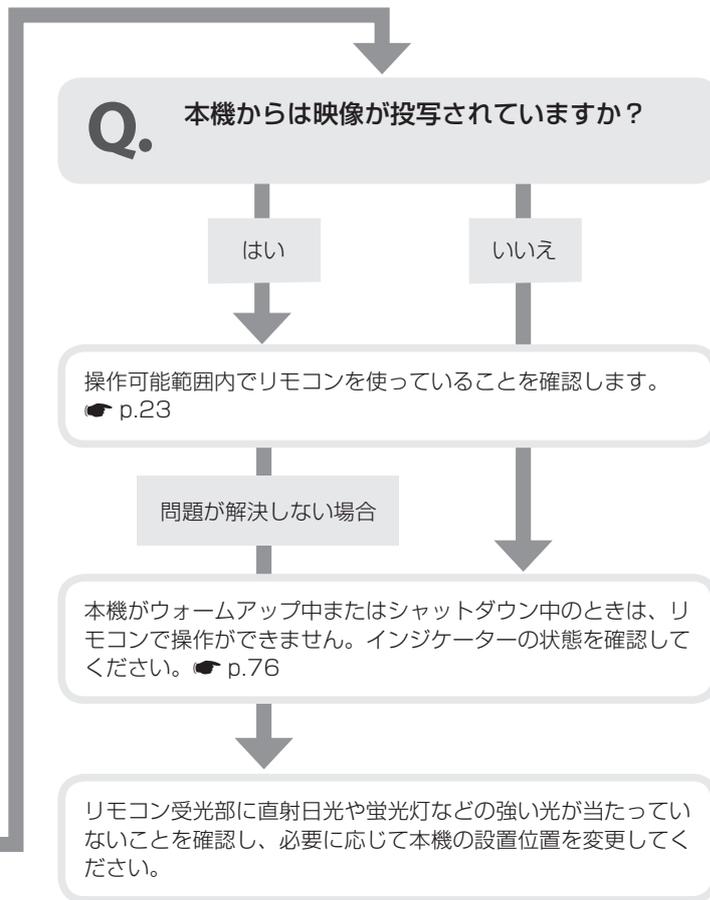
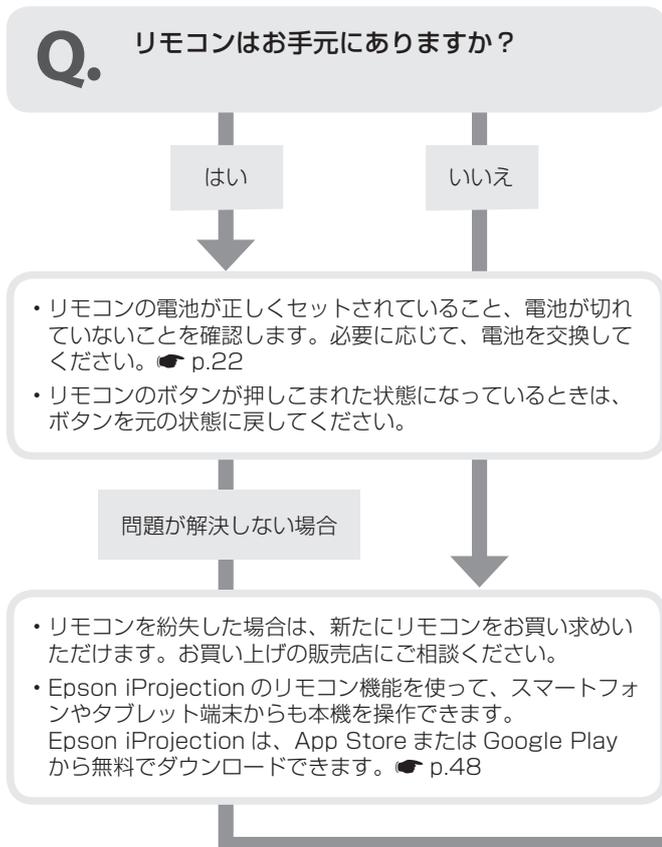
プロジェクターの設定を確認する

- リモコンの  ボタンを押して、音声が一時的に消されていないか確認します。
- [音声出力機器] が正しく設定されているか確認します。
 [設定] - [HDMI リンク] - [音声出力機器] p.65
- Bluetooth オーディオ機器を接続している場合は、[Bluetooth オーディオ] を次のように設定してください。
 - 本体スピーカーまたは AV アンプから音声を出力するときは [オフ] に設定する
 - Bluetooth オーディオ機器から音声を出力するときは [オン] に設定する [設定] - [Bluetooth] - [Bluetooth オーディオ] p.65

接続機器の状態を確認する

- コンピューターを接続している場合は、コンピューターのコントロールパネルでサウンドの設定を確認します。
- HDMI ケーブルで接続している場合は、接続機器の設定を PCM 出力にしてください。
- Bluetooth オーディオ機器を接続している場合は、以下を確認します。
 - プロジェクターと Bluetooth 機器の距離が 10m を超えないか
 - プロジェクターと Bluetooth 機器の間に障害物が無いか
 - 電波干渉を引き起こす機器が周囲に無いか

リモコンで操作できない



無線 LAN でネットワーク接続ができない

Q. 無線 LAN インジケータは青く点灯していますか？

はい

いいえ

インジケータの状態と対処方法を確認してください。☞ p.77

パスフレーズが正しいか確認します。パスフレーズは大文字小文字を区別するのでご注意ください。設定したパスフレーズが不明な場合は再度設定しなおしてください。

☞ [ネットワーク設定]-[セキュリティ]-[パスフレーズ] p.72

問題が解決しない場合

Event IDの番号を確認し、p.88の「Event ID について」に記載の対処方法に従ってください。

☞ [ネットワーク設定]-[情報]-[プロジェクト情報]-[Event ID] p.73

Screen Mirroring で接続できない

Q. リモコンの  ボタンを押すと、Screen Mirroring 待機画面が表示されますか？

はい

いいえ

[Screen Mirroring] を [オン] に設定してください。すでに [オン] に設定されているときは、一度 [オフ] に設定して再度 [オン] に設定してください。

☞ [ネットワーク] - [Screen Mirroring] p.70

接続状況を確認する

- すでに他のモバイルデバイスが接続されているときは、他のモバイルデバイスの接続を解除してください。
- Screen Mirroring 接続を終了した直後に再接続するときは、しばらくしてから再接続してください。

プロジェクターの設定を確認する

[ディスプレイ名] に「-」が含まれていないことを確認します。

☞ [ネットワーク] - [Screen Mirroring 設定] p.70

モバイルデバイスの設定を確認する

- モバイルデバイスの設定が正しいことを確認します。設定が正しい場合はモバイルデバイスを再起動してください。
- 接続履歴からではなく、接続可能なデバイスの一覧から本機を選択して接続します。

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

接続環境を確認する

- アクセスポイントとモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物があるときは、電波状況がよくなるように障害物を移動してください。
- アクセスポイントとモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎているときは、近づけて接続してください。
- Bluetooth を使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないかを確認し、干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保してください。
- 接続機器の数が多すぎるときは、接続機器の数を減らしてください。
- モバイルデバイスの Wi-Fi アンテナ部付近が隠れているときは、隠さないようにしてください。

モバイルデバイスの設定を確認する

- モバイルデバイスで省電力設定をしている場合は、設定内容を確認します。設定によってはパワーセーブ時に接続が切れることがあります。
- モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアのバージョンが古いときは、最新のバージョンに更新してください。
- Screen Mirroring で接続する場合は、モバイルデバイスでのインターネット接続を停止してください。モバイルデバイスで Screen Mirroring とインターネット接続を同時に行うと、映像が止まったり、ノイズが入ったりすることがあります。

Event ID について

番号を確認して以下のとおり対処してください。

表に無い Event ID が出た場合や、問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

Event ID	要因	対処法
0020 0026 0032 0036 0037	Screen Mirroring の通信エラーです。	プロジェクターとネットワークソフトウェアを再起動してください。
0021	Screen Mirroring の起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0022 0027 ~ 0031 0035	Screen Mirroring の通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0023 ~ 0025	接続に失敗しました。	コンピューターに PIN 入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring 待機画面または投写映像の右下に表示されている PIN コードを入力してください。それでも解決しないときは、接続機器とプロジェクターを再起動し、設定内容を確認してください。
0038 0042	無線 LAN 方式が一致しません。	モバイルデバイスとプロジェクターの無線 LAN 方式を確認してから、再接続してください。
0041	接続に失敗しました。	コンピューターに保存されている本機の接続情報を削除して、再接続してください。
0043	サポート外のビデオフォーマットです。	モバイルデバイスの解像度を変更して再接続してください。または、プロジェクターのパフォーマンス調整を変更して再接続してください。

Event ID	要因	対処法
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0433	転送された画像を再生できません。	ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0483 04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じ SSID のアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じ SSID に設定してください。
0892	WPA/WPA2 の認証方式が一致しません。	無線 LAN セキュリティーの設定が正しいか確認してください。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCP の取得に失敗しました。	DHCP サーバーが正しく動作しているか確認してください。 DHCP を使用しないときは、DHCP の設定をオフにしてください。 ☛ [ネットワーク設定]-[無線 LAN]-[IP 設定]-[DHCP] p.71
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはネットワークソフトウェアを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターにご相談ください。

お手入れの方法

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

エアフィルターの掃除

エアフィルターにホコリがたまっていたり、次のメッセージが表示されたときは、エアフィルターを掃除してください。

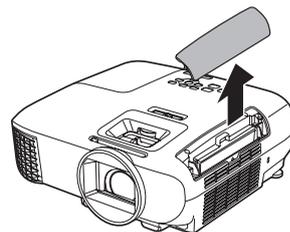
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」



エアフィルターは取り外しできるため、両面を掃除できます。エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。

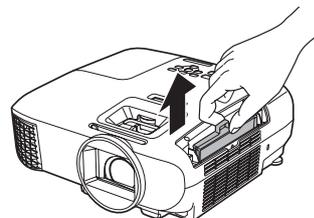
- 注意
- ・エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。ホコリの多い環境でお使いの場合はこまめに掃除を行ってください。
 - ・エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

1 エアフィルターカバーを開けます。



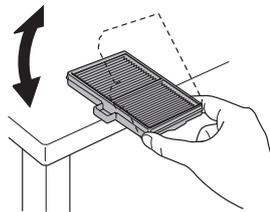
2 エアフィルターを取り外します。

タブに指をかけてまっすぐ引き出します。



- 3** エアフィルターの表面を下にして、4～5回たたいてホコリを落とします。

手前側も同様にたたいてホコリを落とします。

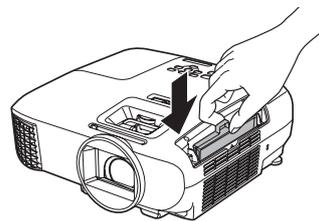


注意 エアフィルターを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

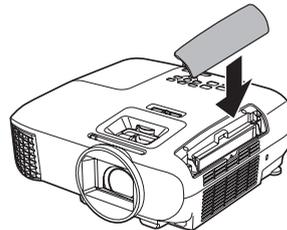
- 4** 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。



- 5** エアフィルターを取り付けます。
カチッと音がするまで押し込みます。



- 6** エアフィルターカバーを閉めます。



本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意 ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

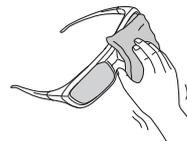
注意 レンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。

警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

3D メガネの掃除

メガネレンズの汚れは、3D メガネに同梱のクリーナーで軽くふき取ってください。



注意

- ・メガネレンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。
- ・お手入れの際には、USB 充電 AC 電源アダプターをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認してから行ってください。



3D メガネには充電電池が含まれています。廃棄するときは、地域の廃棄ルールに従ってください。

消耗品の交換時期

エアフィルターの交換時期

エアフィルターの掃除を行っても交換メッセージが表示されるときは、オプション品の ELPAF55 に付属の取扱説明書に従って、エアフィルターを交換してください。

ランプの交換時期

次の場合には、オプション品の ELPLP96 に付属の取扱説明書に従って、ランプを交換してください。

- 投写開始時に、次のメッセージが表示されたとき
「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jp をご覧ください。」
- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

プロジェクターの性能をフルに発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のもを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。



- 投写映像の明るさは、投写時間の経過にしたがって低下します。初期の明るさや画質を維持するため、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はメニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンダイレクト（通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。

オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション・消耗品類は2017年5月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

名称	型番	説明
天吊り金具（ホワイト）※	ELPMB23	本機を天井に取り付けるときに使います。
パイプ450（450mm ホワイト）※	ELPFP13	高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
パイプ700（700mm ホワイト）※	ELPFP14	
RF方式3Dメガネ	ELPGS03	3Dの映像を楽しむときに購入してください。
USB充電AC電源アダプター	ELPAC01	3Dメガネを充電するときに使います。
コンピューターケーブル（1.8m）	ELPKC02	コンピューターの画面を投写するときに使います。
コンピューターケーブル（3.0m）	ELPKC09	
コンピューターケーブル（20.0m）	ELPKC10	

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

消耗品

名称	型番	説明
交換用ランプ	ELPLP96	使用済みランプと交換します。（ランプ1個）
エアフィルター	ELPAF55	使用済みのエアフィルターと交換します。（エアフィルター2枚入り）

対応解像度一覧

コンピューター映像（アナログRGB）

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SVGA	60	800 x 600
XGA	60	1024 x 768
SXGA	60	1280 x 960
	60	1280 x 1024
WXGA	60	1280 x 768
	60	1366 x 768
	60	1280 x 800
WXGA++	60	1600 x 900

HDMI 1/HDMI2 入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 x 1080

MHL 入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30	1920 x 1080

3D 入力信号 HDMI

信号	リフレッシュ レート (Hz)	解像度 (ドット)	3D フォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720	✓	✓	✓
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV (1080p)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV (1080p)	24	1920 x 1080	✓	✓	✓

3D 入力信号 MHL

信号	リフレッシュ レート (Hz)	解像度 (ドット)	3D フォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720	-	✓	✓
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV (1080p)	50/60	1920 x 1080	-	-	-
HDTV (1080p)	24	1920 x 1080	-	✓	✓

仕様一覧

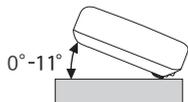
商品名	EH-TW5650	
外形寸法	309 (幅) x 107 (高さ) x 278 (奥行) mm (突起物含まず)	
パネルサイズ	0.61 型ワイド	
表示方式	ポリシリコン TFT アクティブマトリクス	
画素数	横 1920 x 縦 1080 x 3	
フォーカス調整	手動	
ズーム調整	手動 (約 1 - 1.6)	
ランプ (光源)	UHE ランプ 定格 200 W、型番 : ELPLP96	
ランプ交換目安	4400 時間	
電源	100 - 240 V AC \pm 10%、50/60 Hz、3.2 - 1.4 A	
消費電力	100-120V エリア	定格消費電力 : 312 W 待機時消費電力 (通信オン) : 2.0 W 待機時消費電力 (通信オフ) : 0.2 W
	220-240V エリア	定格消費電力 : 296 W 待機時消費電力 (通信オン) : 2.0 W 待機時消費電力 (通信オフ) : 0.2 W
動作高度	標高 0 ~ 3000 m	
動作温度範囲	+ 5 ~ + 35°C* (結露しないこと)	
保存温度範囲	- 10 ~ + 60°C (結露しないこと)	
質量	約 3.5kg	

接続端子	PC入力端子 x1 系統、ミニ D-sub 15pin (メス) 青色	
	HDMI 入力端子 x2 系統、HDMI HDCP 対応、CEC 信号対応、MHL 信号対応 (HDMI1 入力端子のみ)、3D 信号対応、Deep Color	
	USB 2.0 TypeA 端子 x1 系統	
	Audio Out 端子 x1 系統、ステレオミニピンジャック	
スピーカー	最大入力 10 W x 1	
Bluetooth バージョン	Bluetooth Ver 3.0	
	出力	Class 2
	通信可能距離	約 10m
	対応プロファイル	A2DP
	コンテンツ保護	SCMS-T 方式
	使用周波数	2.4GHz 帯 (2.402GHz - 2.480GHz)
	対応コーデック	SBC、Qualcomm® aptX™ audio

※ 標高 2287 ~ 3000m で使用する場合は + 5 ~ + 30℃。

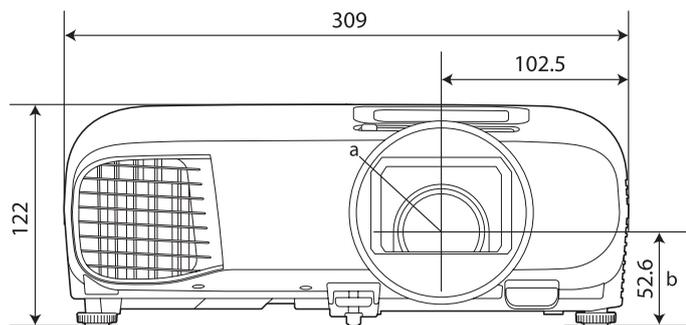
傾斜角度

11° 以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります。



外形寸法図

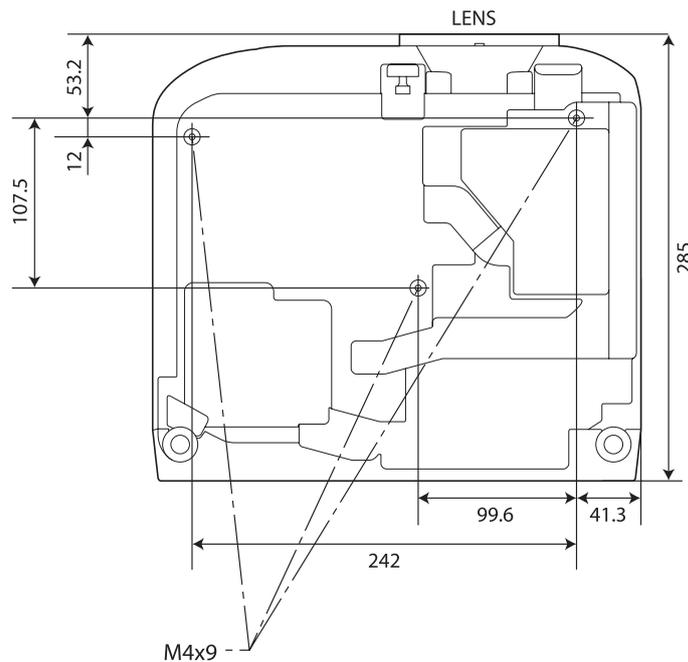
単位：mm



a : レンズ中心

b : レンズ中心から天吊り固定部までの寸法

単位：mm



用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protection の略で、DVI や HDMI 端子を經由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機の HDMI 入力端子は HDCP に対応しているため、HDCP 技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCP の規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interface の略で、HD 映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。HDMI™ はデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Television の略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none">• 垂直解像度 720p、1080i 以上 (p はプログレッシブ走査、i はインターレース走査)• 画面のアスペクトは 16 : 9 ・ドルビーデジタル音声の受信、再生 (あるいは出力)
MHL	Mobile High-definition Link の略で、モバイル端末で映像信号の高速伝送を実現する、高精細映像向けの接続インターフェースの規格のことをいいます。MHL はスマートフォンやタブレット端末をターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま伝送し、電源供給も行います。
SDTV	Standard Definition Television の略で、HDTV の条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横 800 ドット x 縦 600 ドットのもの呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横 1,280 ドット x 縦 1,024 ドットのもの呼びます。
VGA	画面サイズの規格で、横 640 ドット x 縦 480 ドットのもの呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横 1,024 ドット x 縦 768 ドットのもの呼びます。
YCbCr	SDTV 用のコンポーネント映像信号で、Y が輝度、Cb、Cr が色差を表します。
YPbPr	HDTV 用のコンポーネント映像信号で、Y が輝度、Pb、Pr が色差を表します。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横 : 縦の比率が 16 : 9 の、HDTV などの画面をワイド画面といいます。SDTV や、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4 : 3 です。
ペアリング	Bluetooth 機器で接続するとき、相互に通信できるよう、あらかじめ機器を登録することです。

一般のご注意

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるため、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあります。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」、「ELPLP」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

HDMI と High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

Mac、Mac OS、OS X、macOS は、Apple Inc. の商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Bluetopia® is provided for your use by Stonestreet One, LLC® under a software license agreement. Stonestreet One, LLC® is and shall remain the sole owner of all right, title and interest whatsoever in and to Bluetopia® and your use is subject to such ownership and to the license agreement. Stonestreet One, LLC® reserves all rights related to Bluetopia® not expressly granted under the license agreement and no other rights or licenses are granted either directly or by implication, estoppel or otherwise, or under any patents, copyrights, mask works, trade secrets or other intellectual property rights of Stonestreet One, LLC®.

© 2000-2012 Stonestreet One, LLC® All Rights Reserved.

MHL、MHL のロゴ、および Mobile High-Definition Link は、米国およびその他の国における MHL, LLC の商標または登録商標です。

Wi-Fi®、Miracast®、WPA™、WPA2™ は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

Google Play は、Google Inc. の商標です。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2017. All rights reserved.

数字・アルファベット

2画面	46,65
3D 明るさ調整	63
3D 映像	38
3D 設定	63
3D 表示	63
3D 変換	39
3D 方式設定	63
3D メガネ左右反転	63
3D メガネの掃除	92
A/V ミュート	33
Bluetooth	65
Bluetooth 機器の接続	20
CEC 規格	42
DHCP	72
Event ID	73,88
HDMI リンク	42,65
IP アドレス	72
IP アドレス表示	72
IP 設定	72
LAN 情報表示	71
MPEG ノイズリダクション	61
QR コード表示	70

Quick Corner	32,65
Remote パスワード	71
RGBCMY	34
Screen Mirroring	52,70
SSID	71
SSID 表示	72

あ

明るさ	60
明るさ切替	61
アクセスポイント検索	71
アスペクト	63
アドバンスト	64
異常 / 警告時インジケータ	74
イメージ強調	34,61
イルミネーション	69
色合い	60
色温度	60
色の濃さ	60
インジケータ	74
エアフィルターの交換時期	93
エアフィルターの掃除	90
映像の位置調整	29
映像メニュー	63
オートアイリス	34,61

オーバースキャン	64	サブメニュー	58
オフセット	34	色相	34
音量	33,65	自動タテ補正	30,65
か		自動調整	64
外形寸法図	99	シャープネス	34,60
拡張設定メニュー	68	写真	44
画質	34	仕様一覧	97
画質メニュー	60	情報メニュー	73
型番表示モード	68	消耗品の交換時期	93
傾き調整	29	初期化	61
カラーモード	34,60	初期化メニュー	72,73
環境設定メニュー	58	ズームスライダー	10
ガンマ	61	ズーム調整	28
基本設定メニュー	71	スタートアップスクリーン	68
クールダウン	27	スライド式ヨコ補正	31,65
ゲイン	34	スライドショー	44
ゲートウェイアドレス	72	スリープモード	68
言語	69	セキュリティー	72
交換時期	93	セキュリティーメニュー	72
高地モード	69	接続	18
コントラスト	60	接続モード	71
さ		設置モード	68
彩度	34	設定メニュー	65
サブネットマスク	72	全初期化	73
		操作パネル	10,11

操作範囲	23
操作ボタンロック	66
ソフトキーボード	59

た

対応解像度	95
待機モード	69
台形補正	65
ダイレクトパワーオン	24
高さ調整	29
タテ補正	65
タテヨコ	65
タテヨコ補正	31
チャイルドロック	66
チャンネル設定	71
ディテール強調	61
テストパターン	28
電源	24
同期	63
動作設定	68
投写サイズの調整	28
トップメニュー	58
トラッキング	63

な

入力ソース	25
-------	----

ネットワーク設定	48
ネットワークメニュー	70
ノイズリダクション	61

は

バージョン	73
背景表示	68
パスフレーズ	72
表示位置	63
表示設定	68
ピント調整	28
フォーカススライダー	10
フォーカス調整	28
フレーム補間	34,61
プロジェクター情報	73
プロジェクター名	71
ホーム画面	26
ボリューム	33
本体の掃除	92

ま

無線 LAN	48
無線 LAN 電源	70
無線 LAN メニュー	71
明度	34

メッセージ表示	68
メニュー	58
メモリー	35,66
メモリー初期化	73
メモリー登録	66
メモリー呼出	66

や

ユーザーボタン	66
ヨコ補正	65
ヨコ補正スライダー	10

ら

ランプカバー	10
ランプ点灯時間	73
ランプ点灯時間初期化	73
ランプの交換時期	93
リモコン	12,22
リモコンの操作範囲	23
レンズシフト	29
レンズシフトダイヤル	10
レンズの掃除	92
ロック設定	66

わ

割り込み接続	70
--------	----

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。

FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●製品に関するご質問・ご相談先(プロジェクターインフォメーションセンター)

製品の操作方法・お取扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

050-3155-7010

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白坂2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 ウイングビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

*修理について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・鳥取修理センター:0857-77-2202

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ(<http://www.epson.jp/support/>)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン 株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

液晶プロジェクタ(H) 2016.03



413401500

Printed in the Philippines